

平成23年度 コンピュータセキュリティ早期警戒体制の整備事業  
中小企業情報セキュリティ対策促進事業  
実施報告書

平成24年3月30日

特定非営利活動法人  
日本ネットワークセキュリティ協会

=== 目 次 ===

第1章 中小企業情報セキュリティ対策促進事業概要 .....	- 2 -
第2章 指導者育成セミナー開催概要.....	- 4 -
第3章 指導者育成セミナー開催地及び参加者数.....	- 5 -
第4章 指導者育成セミナープログラム.....	- 7 -
第5章 各地の開催状況(開催日程順) .....	- 8 -
第6章 セミナー実施状況.....	- 36 -
第7章 開催会場からの意見.....	- 48 -
第8章 商工会議所・中小企業団体中央会からの意見 .....	- 51 -
第9章 担当講師からの意見.....	- 59 -
第10章 地域での講習会の開催.....	- 60 -
第11章 まとめ.....	- 67 -

## 第1章 中小企業情報セキュリティ対策促進事業概要

目的:

経済社会がグローバル化する今日、IT化の進展によって企業の生産性が飛躍的に向上し、国境を越えたサプライチェーンが高度化してきています。その一方で、インターネットを通じ、社内やグループ企業内のコンピュータ、ネットワーク、従業員の家庭のコンピュータから、企業情報の漏えい、個人情報流出などの事件・事故が相次いで発生しており、その内容も多様化する一途となっています。このような情報セキュリティに関する事件・事故は、利用者である顧客に重大な損害を与えるだけでなく、企業そのものに金銭的な不利益をもたらすとともに、社会的責任を問われ、企業としての信用・信頼を失うおそれがあります。

これまで、関係機関の理解と協力のもとに様々な事業を行うことで、我が国企業の情報セキュリティレベルは全体的に向上しつつありますが、企業規模別に見ると、中小企業における情報セキュリティ対策の取組みは、大企業と比較して十分とは言えません。また、昨今、顧客から預かった大事な情報を、委託先の中小企業が漏えいしてしまう事故も発生していることから、中小企業の情報セキュリティレベルの向上を図ることが、我が国全体の情報セキュリティ水準の向上に必要不可欠となっています。

このような状況を踏まえ経済産業省からの委託を当協会が受け、日本商工会議所、全国商工会連合会及び特定非営利活動法人ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会の協力の下、中小企業の経営者等に対して、情報セキュリティ対策に係る意識を高めていただくことを目的とした中小企業情報セキュリティ対策促進事業を実施しました。

本事業は4年度目の事業として、事業の主旨と3年間の成果と課題を基に、中小企業に情報セキュリティ対策の必要性への気づきを与え、企業の実情に応じた対策を行ってもらうことを目的としたものとなっています。地域ごとの指導的立場の人材が情報セキュリティ対策の必要性と具体的対応を中小企業の経営者に直接指導することが、適切な情報セキュリティ対策実施のためには必要とされることから、指導者の育成を中心とした施策を次のとおり実施しました。

- ・ 全国の商工会議所の職員、商工会職員、中小企業団体中央会関係者、日商マスター、中小企業診断士、ITコーディネータ及びその他情報セキュリティを指導する立場にある方々（地場の情報セキュリティベンダーなど）を対象とした指導者向けの情報セキュリティ研修「情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー」を開催。
- ・ 各商工会議所の職員、商工会・都道府県中央会関係者が、情報セキュリティ対策に関する中小企業からの質問に対応できるようにする。
- ・ 日商マスター、中小企業診断士、ITコーディネータ等のITの専門家は、研修を受講することにより、IT利活用の支援等を実施する際に、併せて情報セキュリティ対策の必要性について「気づき」をもたらし、中小企業の情報セキュリティ対策の実施を導くことができるようにする。
- ・ 受講者が地域で開催する講習会を支援し、セミナー教材や指導用ツールを無償で提供を行うとともに、「お近くの相談員」として、本促進事業ホームページに氏名を掲載する。
- ・ 各商工会議所職員、商工会関係者、中小企業団体中央会関係者、日商マスター、中小企業診断士、ITコーディネータ及びその他情報セキュリティを指導する立場にある方々が、助言を求めることを可能とするコールセンターを、IPAの協力の下に設置する。

また、本事業の実施にあたり、有識者及び当協会会員企業を参加メンバーとしたワーキンググループを設置し、セミナーの企画・教材検討(テキスト)、講習会の開催方法についての検討会を計4回実施しました。

- 第1回会合 平成 23 年 7 月 5 日(火) 15 時～16 時 30 分
- 第2回会合 平成 23 年 8 月 24 日(水) 13 時～14 時 30 分
- 第3回会合 平成 23 年 12 月 20 日(火) 15 時～16 時 30 分
- 第4回会合 平成 24 年 3 月 8 日(木) 15 時～16 時 30 分

#### ワーキンググループリーダー

井上 陽一 NPO 日本ネットワークセキュリティ協会顧問・西日本支部長

#### ワーキンググループメンバー

石井 茂	独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター
塩野 裕	日本商工会議所 情報化推進部
青山 淳	全国商工会連合会 組織運営部 情報課
大谷 武士	全国中小企業団体中央会 調査部
岡 現	特定非営利活動法人 東京 IT コーディネータ
渡部 章	(株)アークン
加藤 雅彦	(株)インターネットイニシアティブ
持田 啓司	(株)大塚商会
小屋 晋吾	トレンドマイクロ(株)
嶋倉 文裕	富士通関西中部ネットテック(株)
高橋 正和	マイクロソフト(株)
西本 逸郎	(株)ラック
乃田 昌幸	経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室
枝川 慶彦	経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室
加藤 耕三	経済産業省 商務情報政策局情報セキュリティ政策室

## 第2章 指導者育成セミナー開催概要

### 概要:

中小企業の情報セキュリティ対策レベルの向上を図るためには、中小企業のホームページ作成や IT 化の支援などを行ない、実際に中小企業のアドバイザー的な役割を担う人々に対して、情報セキュリティに関する知識習得の機会を提供し、中小企業の経営者などに対して、情報セキュリティ対策の必要性をアピールすることが重要であると考えます。

そのため、経済産業省とNPO 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)は、2008年度から3年に亘り、地域での指導者育成を目的とした指導者育成セミナーを実施した。対象者については商工会議所職員や商工会職員、都道府県中央会職員などの中小企業支援を業務等で行っている方々、IT コーディネータ資格保持者や中小企業診断士に加え、前年度から対象としている情報セキュリティを指導する立場にある方々(地場の情報セキュリティベンダーなど)もさらに参加を促し、多くの指導的立場にある方々に対して、情報セキュリティの知識習得と中小企業向け指導法習得を目的とした指導者育成セミナーを2011年8月から翌2月末にかけて全国で27回を開催した。

特に今年度は、実際に中小企業への指導をできる人材の育成に重きを置き、受講者が活用できる講習会の推奨スケジュールを提供したり、演習を中心とした内容で指導する際のポイントを体得できるプログラムとした。

- 期間 : 平成23年8月～平成24年2月  
開催数 : 全国各地25都道府県にて27回開催  
主催 : 経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会  
後援 : 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、  
全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会、  
開催地の商工会議所・県商工会連合会・NPO 法人  
定員 : 各会場 50名～100名  
参加対象 : 商工会議所関係者(商工会議所職員、日商マスター等)、商工会関係者、  
中小企業団体中央会関係者、IT コーディネータ、中小企業診断士、  
その他中小企業を指導する立場にある人(地場の情報セキュリティベンダーなど)  
※ IT コーディネータの受講者には、ITC 協会後援セミナーとして受講修了証を  
発行し、6.5時間の知識ポイントを付与した。

### 第3章 指導者育成セミナー開催地及び参加者数

ブロック	開催地域名 (後援団体)	日 時	参加者 総数(名)	掲載頁
		会 場		
北海道	北海道 (1) (札幌商工会議所)	8月30日(火)	64	8
		北海道経済センター		
北海道	北海道 (2) (帯広商工会議所、北海道中小企業団体中央会 十勝支部事務所、北海道十勝管内商工会連合会)	12月15日(木)	15	28
		帯広商工会議所		
東北	宮城 (仙台商工会議所)	9月22日(木)	30	12
		仙台商工会議所		
関東	栃木 (宇都宮商工会議所)	10月26日(水)	27	18
		宇都宮商工会議所		
関東	東京 (1) (東京商工会議所)	11月1日(火)	96	19
		東京商工会議所		
関東	東京 (2) (東京商工会議所)	1月30日(月)	71	33
		東京商工会議所		
関東	神奈川 (神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会)	9月6日(火)	86	9
		相鉄岩崎学園ビル		
関東	千葉 (柏商工会議所、NPO ちば経営応援隊)	10月12日(水)	74	15
		柏商工会議所		
関東	新潟 (新潟商工会議所、財団法人にいがた産業創造機構、 特定非営利活動法人新潟情報セキュリティ協会)	11月25日(金)	17	23
		NICO プラザ		
中部	富山 (富山商工会議所、富山県中小企業団体中央会、富山 県情報産業協会、NPO 法人 IT コーディネータ富山)	12月13日(火)	39	27
		富山県総合情報センター		
中部	愛知 (名古屋商工会議所、社団法人中部産業連盟)	9月9日(金)	89	10
		中産連ビル		
中部	岐阜 (大垣商工会議所、財団法人ソフトピアジャパン)	1月18日(水)	36	30
		ソフトピアジャパンセンタービル		
近畿	京都 (京都商工会議所)	12月9日(金)	91	26
		京都商工会議所		
近畿	大阪 (大阪商工会議所)	11月15日(火)	88	21
		大阪商工会議所		
近畿	兵庫 (神戸商工会議所、NPO 法人 ITC 近畿会)	9月15日(木)	41	11
		神戸市産業振興センター		
近畿	和歌山 (田辺商工会議所、NPO 情報セキュリティ研究所)	12月1日(木)	18	25
		県立 情報交流センター		
近畿	福井 (ふくい産業支援センター、福井県商工会議所連合会、 福井県商工会連合会、福井県中小企業団体中央会、福井県 情報化支援協会)	2月2日(木)	16	34
		福井県産業情報センター		

ブロック	開催地域名 (後援団体)	日 時	参加者 総数(名)	掲載頁
中国	広島 (広島商工会議所、NPO 法人 ITC 広島)	10月20日(木)	47	17
		広島商工会議所		
	岡山 (岡山商工会議所)	11月22日(火)	22	22
		岡山商工会議所		
鳥取 (米子商工会議所)	11月8日(火)	23	20	
	米子商工会議所			
山口(下関商工会議所、ITコーディネータやまぐち協同組合)	1月27日(金)	23	32	
	下関商工会館			
四国	徳島 (徳島県商工会連合会)	1月13日(金)	28	29
		あわぎんホール		
九州	福岡 (福岡商工会議所)	9月27日(火)	52	13
		福岡商工会議所		
	大分(大分商工会議所、NPO 法人大分 IT 経営推進センター、財団法人ハイパーネットワーク社会研究所)	11月29日(火)	22	24
		大分商工会議所		
鹿児島 (鹿児島商工会議所)	10月14日(金)	15	16	
	鹿児島商工会議所			
宮崎 (宮崎商工会議所、宮崎県ソフトウェアセンター)	1月20日(金)	33	31	
	宮崎グリーンソフィア壱番館			
沖縄	沖縄(沖縄県商工会連合会、沖縄県商工会議所連合会、那覇商工会議所、財団法人沖縄県産業振興公社)	10月7日(金)	39	14
		沖縄産業支援センター		
		合 計	1,202	---

#### 経営指導員研修会

ブロック	開催地域名 (後援団体)	日 時	参加者 総数(名)	掲載頁
関東	神奈川	11月11日(金)	33	35
		神奈川中小企業センター		

## 第4章 指導者育成セミナープログラム

情報セキュリティ対策について、中小企業でのリスクアセスメントと起こりうるインシデント対応を中心に、リスク発見と対策方法、インシデント発生時の対応方法に関して、指導者として知っておかねばならないことを主な内容として実施した。

午前は、中小企業に対して座学や指導時に必要となる最新知識や短時間での座学講習を実施するための実施スケジュールの解説などを行い、日常中小企業への経営やIT化の指導を行う場面で情報セキュリティに関する指導を行える知識を解説。午後の前半では演習ビデオにより、リスク発見を中心としたリスクアセスメントのグループ演習を実施。また、午後の後半では、実際にインシデントが発生した際の危機感や実際の対応事例を伝えてもらうことを主眼として事故対応の体験演習を実施した。中小企業での事故対応を仮想体験することで、現場での指導を想定した臨場感を持った研修内容とした。

### 【タイムスケジュール】

(ア) 9:30～12:30(座学講習実施のためのポイント解説、オリエンテーション含む)

指導者の方々が座学講習を行うための講習会サンプルスケジュールとポイントの解説を行った。

また、講習の中で、タイムリーで話題性のある情報を提供できるように、最新の情報セキュリティ動向を説明した。

1. 講習会サンプルスケジュールの説明
2. 情報セキュリティ最新情報解説
3. リスクアセスメントと事故対応(インシデントレスポンス)解説

(イ) 13:30～14:40(リスクアセスメント演習)

ある企業の業務風景を映像化したビデオを見て、グループ討議でリスクアセスメントの演習を行った。直接的なリスクだけでなく関連して発生しうるものなど、そこに潜むリスクを探し出すことで、気づきを養うとともに中小企業に対して適切に対策提案を行うためのスキルを養った。

(ウ) 14:50～16:50(ケーススタディによる事故対応体験、講師講評含む)


情報セキュリティ事故(インシデント)の事例を基にして、対応方法をグループ討議しながらロールプレイ形式で演習を行い、事故対応の疑似体験をした。自分で事故対応ができるためではなく、セミナーにより体験したことを中小企業指導に役立ててもらうとともに、地域の講習会で事故対応時の注意点などとして伝えられるようにしていただいた。


### 【主な配布資料(指導者として利用するもの)】


- ・ リスクアセスメント演習 DVD
- ・ 講習会サンプルスケジュール
- ・ 演習マニュアル(演習実施のための基本的内容と、実施スケジュール)
- ・ 指導用マニュアル(ブルー)
- ・ 講習用テキスト(ピンク)
- ・ IPA「5分でできる! 中小企業のための情報セキュリティ自社診断」





第5章 各地の開催状況(開催日程順)


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（北海道①）				
開催報告書				
日時	2011年8月30日（火） 9：30～17：00			
場所	北海道経済センター 8階 Aホール			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	札幌商工会議所、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	山田 英史	総参加者数	64名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	2名	中小企業診断士	4名
	商工会関係者	0名	EC 実践講師	0名
	中央会職員・指導員	0名	日商マスター	0名
	IT コーディネータ	60名	その他	30名
主催者スタッフ	経済産業省 北海道経済産業局 地域経済部 情報政策課 高橋 育男 JNSA 持田、林、小島		4名	
参加者の状況				
<p>参加者のほとんどが IT コーディネータであり、IT コーディネータの関心の高さが伺えた。また、昨年や一昨年のセミナーに参加した参加者が 20 名以上おり、継続しての参加も多く見られるようになっている。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上を感じられているようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業も増えていると感じられているようである。さらに中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、情報セキュリティ対策費の補助といった支援プログラムが必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>午前中の座学講習実施のためのポイント解説の講義では、熱心にテキストへの書き込みを行っており、午後の演習ではグループごとに活発な議論が行われた。発表時には、やや遠慮した姿勢が見られたが、講師陣があらかじめ想定していた解答以外にも変わった意見が出されるなど、短いディスカッション時間ながら細かい部分まで良く検討されていた。</p> <p>参加者のほとんどが IT コーディネータということで、午後の演習においては同じ立場の人間と意見を交すことができ、それが参加者から好評を戴いたのではないかと考えられる。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（神奈川） 開催報告書				
日時	2011 年 9 月 6 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	相鉄岩崎学園ビル 8階 807号室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	長谷川 長一	総参加者数	86名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0名	中小企業診断士	10名
	商工会関係者	1名	EC 実践講師	1名
	中央会職員・指導員	0名	日商マスター	0名
	IT コーディネータ	58名	その他	28名
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 小島 智行 JNSA 林、水谷、小島			4名
参加者の状況				
<p>参加者 86 名中 51 名が過去のセミナーに参加したことがあり、毎年継続して参加して戴けていることがわかる。また、東京や埼玉からの参加者もおり、セキュリティへの関心の高さが伺えた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じているようだが、「中小企業に人材の活用方法が見えてない」とのご意見を頂戴した。また、それを解消するために「中小企業と指導員とが一緒に参加して議論する研修会を実施して、中小企業の理解を深めるのはどうか」とのご意見も頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>過去のセミナーに参加した方が多くいたこともあり、演習中に会場が笑いに包まれるなど、終始和やかな雰囲気で行っていた。午前の座学講習のセキュリティ最新動向の解説に関しては、「さらに詳細な説明があると良い」や「説明時間をもっと長くって欲しい」などのご意見を頂戴し、セキュリティに対する関心の高さが伺えた。</p> <p>肯定的なご意見が多くある一方で、「時間が短い」や「初心者向けコンテンツが多い」などのご意見も頂戴した。セミナーの時間は限られているため、効率良く学んでいただけるよう Web ページでのコンテンツ公開などを充実させていく必要があると考えられる。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（愛知）				
開催報告書				
日時	2011 年 9 月 9 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	中産連ビル 2階 集会室 2C			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	名古屋商工会議所、社団法人中部産業連盟、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	菊谷 広	総参加者数	89 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	5 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	1 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	73 名	その他	17 名
主催者スタッフ	経済産業省 中部経済産業局 地域経済部 情報政策課 杉山 益美 JNSA 林、小島			3 名
参加者の状況				
<p>参加者の 8 割が IT コーディネータであり、IT コーディネータの関心の高さが伺えた。また、過去のセミナーに参加した方が 40 名以上おり、過去のセミナーが好評であったことも伺えた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じているようだが、実際に取り組みを始めるには至っていないところが多いと感じているようである。中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者や従業員に対する啓発や教育が必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>知り合い同士での参加やセミナー前からの知り合いが参加者の中で多かったため、グループディスカッションなどの演習はスムーズに進行しており、活発にディスカッションがされていた。</p> <p>参加者アンケートにおいては、「セキュリティに関する最新情報の解説をもっと欲しい」とのご意見を多く頂戴した。近年、注目されている情報セキュリティ事件・事故から必要性を感じ、参加いただいた方も多くいるため、セミナー開催時の時事的な事例についても、セミナー内で取り上げて行く工夫が必要であると考えられる。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（兵庫）				
開催報告書				
日時	2011 年 9 月 15 日（木） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	神戸市産業振興センター 9階 901 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	神戸商工会議所、NPO 法人 ITC 近畿会、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	嶋倉 文裕	総参加者数	41 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	6 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	35 名	その他	7 名
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 加藤 耕三 JNSA 井上、林、水谷、小島			5 名
参加者の状況				
41 名中 35 名と参加者のほとんどが IT コーディネータであった。また、2 回目や 3 回目といった過去のセミナーの参加者も多く見られ、既に面識のある参加者が多くいるように感じられた。				
開催地からのご意見				
昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じられていないようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業もそれほど増えていないと感じられているようである。中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者への啓発活動や教育が必要であるとのご意見を頂戴した。				
全体の考察				
<p>午前の座学の講習においては、講師の説明を聞きながらテキストに書き込みを行っている参加者が多く見られた。また、午後の演習においては、グループごとに異なった意見が多く出され議論も白熱しており、会場全体に積極的な姿勢が見られた。</p> <p>参加者アンケートにおいては、「情報セキュリティに取り組まなくてはならない背景が理解できるような資料が欲しい」や「初心者向けよりさらに易しいレベルの DVD が欲しい」など、まだまだ情報セキュリティの重要性が浸透しきっていないと考えられるご意見があった。幅広い層に対して情報セキュリティの指導を行っていくために、これまで作製してきた DVD やテキストを組み合わせることで段階的に情報セキュリティを学べるプログラム等を指導者用コンテンツとして作製していくということも考えられる。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（宮城）				
開催報告書				
日時	2011 年 9 月 22 日（木） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	仙台商工会議所 7階 大会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	仙台商工会議所、日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	勝見 勉	総参加者数	30 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	1 名	中小企業診断士	1 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	1 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	23 名	その他	10 名
主催者スタッフ	JNSA 林、小島			2 名
参加者の状況				
<p>30 名中 23 名と参加者のほとんどが IT コーディネータであった。交通機関の遅延により、遠方からの参加者が数名遅れての参加となった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じられていないようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業もそれほど増えていないと感じられているようである。今回のセミナー参加者には、中小企業に対して直接指導を行って情報セキュリティ対策を向上させていって欲しいとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>前日に通過した台風の影響で交通機関に遅延があり、セミナーの開始に間に合わない参加者が出てしまった。しかし、午前は座学のみで午後からグループディスカッションというプログラムだったこともあり、遅れてきた参加者を含め問題なくグループディスカッションの演習は行われた。</p> <p>福島や山形などの他県からの参加者も見られたが、セミナー開始前や昼食休憩の時間などにあらかじめ名刺交換や自己紹介を行っており、積極的に交流する姿勢が見られた。その効果もあり、グループディスカッションや発表は活発に行われていた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（福岡）				
開催報告書				
日時	2011 年 9 月 27 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	福岡商工会議所 4階 406・407号室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	福岡商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	山田 英史	総参加者数	52名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0名	中小企業診断士	1名
	商工会関係者	0名	EC 実践講師	0名
	中央会職員・指導員	0名	日商マスター	0名
	IT コーディネータ	35名	その他	18名
主催者スタッフ	経済産業省 九州経済産業局 松谷 昭一、白木原 一欽 JNSA 林、小島			4名
参加者の状況				
<p>52名中35名と参加者のほとんどがITコーディネータであった。また、過去のセミナーに参加したことのない参加者が8割を占め、初めての参加者が多いセミナーとなった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じられていないようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業もそれほど増えていないと感じられているようである。中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者や従業員への啓発活動が必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>午後の演習では、ディスカッションの冒頭からかなり盛り上がり、グループ内でのチームワークがとても良かったように感じられた。また、グループごとの発表では、グループ数が多いこともあり他グループの意見と重なってしまう場面が見られたが、ディスカッション中に出されたコメントや個人の考えなどグループ独特の意見が多く聞かれた。</p>				




情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（沖縄） 開催報告書				
日時	2011 年 10 月 7 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	沖縄産業支援センター3階 302・303号室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	沖縄県商工会連合会、沖縄県商工会議所連合会、那覇商工会議所、 財団法人沖縄県産業振興公社、日本商工会議所、全国商工会連合会、 NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	小柴 宏記	総参加者数	39名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0名	中小企業診断士	1名
	商工会関係者	5名	EC 実践講師	0名
	中央会職員・指導員	0名	日商マスター	1名
	IT コーディネータ	12名	その他	21名
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 加藤 耕三 JNSA 林、小島			3名
参加者の状況				
39名中7名と他の開催場所と比較し、女性の参加者が多く見られた。また、20歳代や30歳代の参加者が多く見られた。				
開催地からのご意見				
昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じられていないようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業もそれほど増えていないと感じられているようである。中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、対策費の補助といった支援プログラムも必要であるとのことご意見を頂戴した。				
全体の考察				
<p>午前の座学講習では、講師の解説に対してうなずきながらメモを取るなど、非常に熱心な様子が見られた。午後の演習では、初対面同士でのディスカッションであったため、始めは静かな様子だったが、徐々に活発に意見を交すようになり、発表でも深く検討された意見が多く述べられていた。</p> <p>参加者アンケートにおいては、「午前の座学は理解しやすく、午後の演習は具体的事例に触れることができ実務の理解を深められた」などのご意見を頂戴し、座学・演習ともに高評価であった。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（ 柏 ）				
開催報告書				
日時	2011 年 10 月 12 日（水） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	柏商工会議所 4階 401・402号室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	柏商工会議所、NPO ちば経営応援隊、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	山田 英史	総参加者数	74 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	11 名
	商工会関係者	1 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	1 名
	IT コーディネータ	66 名	その他	13 名
主催者スタッフ	経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 情報政策課 竹村 勝 JNSA 林、水谷、小島			4 名
参加者の状況				
74 名中 66 名と参加者のほとんどが IT コーディネータであり、中小企業診断士の参加者も多く見られた。また、50 歳代と 60 歳代以上の参加者がほぼ半数を占めた。				
開催地からのご意見				
東日本大震災のこともあり、昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じているようだが、実際に取り組みを始めるには至っていないところが多いようである。「情報セキュリティに関する啓発だけでなく、支援体制の強化や補助等の具体的な支援プログラムが必須である」とのご意見を頂戴した。				
全体の考察				
<p>午後のディスカッションは非常に活発で、検討時間ギリギリまで自分の意見を述べているグループが多かった。また、発表時においてもグループごとの発表だけでなく、個人の考えをコメントとして発表する参加者も見られた。</p> <p>参加者アンケートにおいては、「資料がバラバラすぎる」とのご意見を頂戴した。講習ごとに使う資料を別々に作成したが、ひとまとめにした方が初めて資料を見る参加者にとってはわかりやすいようであった。限られたセミナーの時間を効率良く活用するために配布資料等にも改良を加えて行く必要がある。</p>				





**情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（鹿児島）**


**開催報告書**


日時	2011 年 10 月 14 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	鹿児島商工会議所 4F アイムホール			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	鹿児島商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	久良知 健	総参加者数	15 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	1 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	11 名	その他	4 名
主催者スタッフ	JNSA 林、小島		2 名	
参加者の状況				
<p>参加者が 15 名と他の会場と比較して少なかったが、IT コーディネータがそのうち 11 名と多かった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じられていないようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業もそれほど増えていないと感じられているようである。「事業として、専門家の派遣を行っているので、セキュリティ対策の相談があった際には、今回の受講者に依頼していくことも検討したい」とのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>参加者が 15 名と少なく、グループを 3 つしか作れなかったこともあり、ディスカッションや発表では細かい部分まで深く検討・発表が行われていた。また、講師の講義の仕方やコメントまで注意深く観察している参加者もあり、指導者としてスキルアップするという熱心な姿勢が見られた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（広島） 開催報告書				
日時	2011 年 10 月 20 日（木） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	広島商工会議所 2階 202号室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	広島商工会議所、NPO 法人 ITC 広島、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	長谷川 長一	総参加者数	47名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0名	中小企業診断士	4名
	商工会関係者	1名	EC 実践講師	0名
	中央会職員・指導員	0名	日商マスター	0名
	IT コーディネータ	38名	その他	11名
主催者スタッフ	経済産業省 中国経済産業局 稲原 宏昭 JNSA 林、小島			3名
参加者の状況				
47名中38名と参加者のほとんどが IT コーディネータであった。また、過去のセミナー参加者と初めての参加者の割合が半々であった。				
開催地からのご意見				
例年、同様のテーマのセミナーには多くの企業が参加しているため、情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上していると感じているようである。しかしながら、「地域における指導的立場の人材の活動状況が把握できておらず、IT コーディネータ等との連携が必要である」とのご意見を頂戴した。				
全体の考察				
セミナー開始前より、参加者同士で名刺交換をするなど、演習が始まる前から和やかな雰囲気で行っていた。午後のケーススタディ演習のディスカッションでは、グループごとにそれぞれ異なる前提条件を考え、非常に細かい部分まで検討されていた。発表においても、グループごとに意見をぶつけ合い様々な意見がそれぞれのグループから出ている。				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（栃木）				
開催報告書				
日時	2011 年 10 月 26 日（水） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	宇都宮商工会議所 2階 大会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	宇都宮商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	藤田 平	総参加者数	27 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	1 名	中小企業診断士	3 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	13 名	その他	11 名
主催者スタッフ	JNSA 林、水谷、小島			3 名
参加者の状況				
20 歳代から 60 歳代まで幅広い年齢層の参加者が見られた。また、半数以上が初めての参加者であった。				
開催地からのご意見				
昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じられていないようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業もそれほど増えていないと感じられているようである。中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、地域での指導者育成や確保が必要であるとのことご意見を頂戴した。				
全体の考察				
<p>午前の座学講習では、熱心にメモを取る姿が見られた。午後の演習では、中小企業が実践できる情報セキュリティ対策であるかどうか論点が絞られており、普段から中小企業に対して指導を行っている参加者が多いように感じた。</p> <p>参加者アンケートにおいては、「指導者育成セミナー参加者による講習会の例を知りたい」というご意見を頂戴した。本セミナーでは、指導方法や指導の際の注意点などを中心に学んでいただいているため、参加者に行っていただく講習会に関しての情報を取り入れ、さらに多くの中小企業に指導を行っていただけるようにしていく必要があると考えられる。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（東京） 開催報告書				
日時	2011 年 11 月 1 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	東京商工会議所ビル 7階 国際会議場			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	東京商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	菊谷 広	総参加者数	96 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	15 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	56 名	その他	34 名
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 小島 智行 JNSA 林、水谷、小島			4 名
参加者の状況				
<p>参加者総数 96 名と最も多くの方が参加した会場となった。また、様々な企業や組織から参加されており、本セミナーに初めて参加するという方が半数以上であった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じられていないようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業もそれほど増えていないと感じられているようである。中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者や従業員に対する啓発や教育が必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>サイバー攻撃や情報漏えいなどの報道の影響からか、初めての参加者が半数以上を占めていた。また、情報セキュリティに非常に精通した人も居れば、情報セキュリティに関するセミナーにもあまり参加されたことのない人もおり、幅広い層からの参加が見られた。</p> <p>ソーシャルメディアやスマートフォンに関するセキュリティなど、最新の情報セキュリティに関する事例に参加者の興味が集まっていたように感じられた。今後は中小企業でもそのような技術を取り入れていくことが考えられるため、常に最新の事例を提供できるようにしていく必要がある。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（鳥取）				
開催報告書				
日時	2011 年 11 月 8 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	米子商工会議所 7階 大会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	米子商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	富田 一成	総参加者数	23 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	0 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	14 名	その他	10 名
主催者スタッフ	JNSA 林、小島			2 名
参加者の状況				
23 名中 19 名とほとんどの参加者が初めての参加となった。また、女性の参加者の割合が比較的多く見られた。				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上を感じられているようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業も増えていると感じられているようである。さらに中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、情報セキュリティ対策費の補助といった支援プログラムが必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>午前の座学講習では、テキストに書き込みを行い、休憩時間に講師に質問するなど、積極的な姿勢が見られた。午後のグループディスカッションでは、全員が活発に意見を交しており、発表においても他のグループの意見に補足をするなど、非常に積極的であった。また、人数が少なかったこともあり、多くの参加者が発言することができ、満足感が得られたのではないかと考えられる。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（大阪）				
開催報告書				
日時	2011 年 11 月 15 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	大阪商工会議所 B1階 1号会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	大阪商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	嶋倉 文裕	総参加者数	88名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	1名	中小企業診断士	13名
	商工会関係者	0名	EC 実践講師	3名
	中央会職員・指導員	0名	日商マスター	1名
	IT コーディネータ	61名	その他	27名
主催者スタッフ	経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 情報政策課 奥西 かおり JNSA 井上、青木、水谷、小島			5名
参加者の状況				
過去に本セミナーに参加した方と初めての参加の方がおよそ半々となっていた。しかしながら、セミナー前から顔見知りであるような参加者も多く見られた。				
開催地からのご意見				
昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上を感じられているようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業も増えていると感じられているようである。さらに中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者や従業員に対する啓発、教育が必要であるとのご意見を頂戴した。				
全体の考察				
<p>午後の演習のグループディスカッションでは、情報セキュリティに精通した参加者が多かったためか、与えられた時間よりも早く検討を終えているグループなどが見られた。また、発表では積極的に発言する参加者が多く見られ、大阪会場特有の積極性が感じられた。</p> <p>参加者アンケートにおいては、「午前の座学の時間が長く、午後の演習の時間が短い」とのご意見を頂戴した。普段からセキュリティの業務に従事している方にとっては、指導ポイントの解説とは言え、ありふれた内容ではあまり満足感が得られないようであった。これは、セミナーを開催する場所にも関係することであるが、参加者の情報セキュリティに対する理解度に合わせたカリキュラムを検討する必要があると考えられる。</p>				





情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（岡山）				
開催報告書				
日時	2011 年 11 月 22 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	岡山商工会議所 4階 405会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	岡山商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	木村 聡、安井 浩一		総参加者数	22 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	0 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	13 名	その他	9 名
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 森川 淳 JNSA 井上、林、小島			4 名
参加者の状況				
<p>昨年度の開催と比較すると、参加者数が 10 名程度少なかった。また、他会場と同様に IT コーディネータの参加者が半数以上であった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上を感じられているようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業も増えていると感じられているようである。また、「中小企業の専門的な相談にのれる人材の育成や紹介を行っていただきたい」とのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>午後の演習のグループディスカッションでは、始めは全体的に静かでありあまり発言している様子が見られなかったが、段々と活発なディスカッションとなり、それぞれのグループでユニークな意見が多く出されていた。発表時においても、グループごとに様々な前提条件を考えており、個性的な発表が多かった。</p> <p>参加者アンケートにおいては、本セミナーを知ったきっかけとして「知人の紹介」や「社内のすすめ」といったご意見を頂戴した。多くの参加者に良い評価をいただいていると同時に情報セキュリティへの関心の高まりも感じられるご意見であった。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（新潟） 開催報告書				
日時	2011 年 11 月 25 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	NICO プラザ 11 階 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	新潟商工会議所、財団法人にいがた産業創造機構、 特定非営利活動法人新潟情報セキュリティ協会、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	市川 順之	総参加者数	17 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	1 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	1 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	8 名	その他	8 名
主催者スタッフ	JNSA 林、小島			2 名
参加者の状況				
<p>参加者数は17名と他会場と比較すると少人数であったが、グループディスカッションやグループ発表では一人一人に十分に時間が取れ、参加者も心行くまで発表することができた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じているようだが、実際に取り組みを始めるには至っていないところが多いと感じているようである。中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者や従業員に対する啓発、教育が必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>午後の演習のグループディスカッションでは、それぞれのグループが時間ギリギリまで一生懸命検討していた。ところどころ、難しい課題があったようだったが、講師にアドバイスを求めながら、グループごとの検討結果を導き出していた。発表においても、良く整理されており理解しやすい発表で、講師も驚いている様子であった。</p>				





情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（大分） 開催報告書				
日時	2011 年 11 月 29 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	大分商工会議所 5階 中ホール			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	大分商工会議所、NPO 法人大分 IT 経営推進センター、 財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	渡部 章	総参加者数	22 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	1 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	3 名	その他	20 名
主催者スタッフ	JNSA 林、小島			2 名
参加者の状況				
<p>参加者 22 名中 7 名と女性の割合が高かった。また、10 歳代の参加者もおり、全体的に若い参加者が多く集まった。</p> 				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上を感じられているようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業も増えていると感じられているようである。さらに中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、情報セキュリティ対策費の補助といった支援プログラムが必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>午前の座学講習では、熱心にメモを取る参加者が多く見られた。午後の演習のグループディスカッションでは、積極的に自分の意見を出しており、盛り上がっているグループが多く見られた。発表においても、技術的な意見も交えながら、細かい部分まで良く検討された意見が多かった。また、多くの発表者が発表慣れしており、わかりやすい発表が多かった。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（和歌山）				
開催報告書				
日時	2011 年 12 月 1 日（木） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	和歌山県立 情報交流センター ビッグ・ユー			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	田辺商工会議所、NPO 情報セキュリティ研究所、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	藤田 平	総参加者数	18 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	1 名	中小企業診断士	1 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	2 名	その他	15 名
主催者スタッフ	JNSA 井上、林、小島			3 名
参加者の状況				
<p>参加者 18 名全員が本セミナー初めての参加者であった。参加者の立場も IT コーディネータばかりではなく、様々な方が集まった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業はそれほど増えていないと感じられているようである。また、地域における指導者的立場の人材については十分ではないがおり、積極的に中小企業の指導を行っていただきたいとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>午前の座学講習では、講師のコメントを熱心にテキストに書き込む姿が多く見られた。午後の演習のグループディスカッションでは、それぞれの参加者から意見は多く出ていたが検討時間が短かったためか、結論までまとまっているグループは少なかった。しかしながら、他グループの発表を聞いてメモを取るなど、積極的な姿勢が見られた。</p> <p>参加者アンケートにおいては、「勉強になった」や「有意義であった」などのご意見を多く頂戴した。指導者向けのセミナーということで、参加することに躊躇した参加者が少なからず居たようであり、そのように考えている方に積極的に参加して戴けるような集客の方法なども検討していく必要があると考えられる。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（京都）				
開催報告書				
日時	2011 年 12 月 9 日（金） 10 : 00 ～ 17 : 00			
場所	京都商工会議所 2階 教室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	京都商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	大財 健治	総参加者数	91 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	4 名	中小企業診断士	6 名
	商工会関係者	8 名	EC 実践講師	1 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	1 名
	IT コーディネータ	49 名	その他	32 名
主催者スタッフ	経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 情報政策課 奥西 かおり JNSA 井上、林、青木、小島			5 名
参加者の状況				
<p>参加者数が 91 名と、昨年度の同会場の参加者数のおよそ 2 倍の人数が集まった。例年通り、商工会議所関係者や商工会関係者の参加者も多く参加されていた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上を感じられているようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業も増えていると感じられているようである。さらに中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、従業員への啓発活動や対策方法の教育が必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>開始時間が他の会場と比較して 30 分遅いため、午前の座学講習の後半は多少駆け足であったが、問題なく進行していた。午後の演習では、ディスカッションの冒頭からかなり盛り上がり、グループ内でのチームワークがとても良かったように感じられた。また、グループごとの発表では、グループ数が多いこともあり他グループの意見と重なってしまう場面が見られたが、ディスカッション中に出されたコメントや個人の考えなどグループ独特の意見が多く聞かれた。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（富山）				
開催報告書				
日時	2011 年 12 月 13 日（火） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	富山県総合情報センター 4階 第1・2会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	富山商工会議所、富山県中小企業団体中央会、 富山県情報産業協会、NPO 法人 IT コーディネータ富山、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	大溝 裕則	総参加者数	39 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	1 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	31 名	その他	8 名
主催者スタッフ	JNSA 林、小島			2 名
参加者の状況				
<p>39 名中 31 名と参加者のほとんどが IT コーディネータであった。また、本セミナーに初めて参加する方が 20 名とおよそ半数が初めての参加者となった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じられていないようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業もそれほど増えていないと感じられているようである。情報セキュリティのセミナー等では参加者を集めることが難しく、「対策費の補助といった支援プログラムなど、中小企業の経営者が興味を持つような制度も必要ではないか」とのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>午後の演習のグループディスカッションでは、冒頭から白熱したディスカッションが展開され、検討時間いっぱいまで意見を出し合っていた。発表においては、発表グループの意見に対して、同じ会社の社員や取引先企業の社長といった様々な視点から多くのコメントがあり、非常に盛り上がっていた。</p> <p>参加者アンケートにおいては、「グループディスカッションにより意見交換ができ、気付きもあった」とのご意見を頂戴した。多くの参加者が発言できたことで、聞いている参加者にも得られるものが多かったのではないかと考えられる。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（北海道②）				
開催報告書				
日時	2011 年 12 月 15 日（木） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	帯広商工会議所 会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	帯広商工会議所、北海道中小企業団体中央会 十勝支部事務所、北海道十勝管内商工会連合会、日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	渡部 章	総参加者数	15 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	2 名	中小企業診断士	0 名
	商工会関係者	1 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	2 名	その他	9 名
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 森川 淳 JNSA 水谷、小島			3 名
参加者の状況				
<p>参加者数は15名と他の会場と比較すると少なかったが、商工会議所や商工会など幅広い立場の方が参加されて、休憩中に情報交換を行っている様子などが見られた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じているようだが、実際に取り組みを始めるには至っていないところが多いと感じているようである。中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、情報セキュリティ対策費の補助といった支援プログラムが必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>参加者数が他の会場と比較して少なかったこともあり、演習のグループディスカッションの時間を多くとることができ、課題に対して深く検討することができていた。発表では、マネジメントに関する意見が多く、グループディスカッションで検討した結果を細かいところまで発表できていた。</p>				


情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（徳島）				
開催報告書				
日時	2012 年 1 月 13 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	あわぎんホール			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	徳島県商工会連合会、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	小柴 宏記	総参加者数	28 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	0 名
	商工会関係者	17 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	8 名	その他	3 名
主催者スタッフ	JNSA 青木、小島			2 名
参加者の状況				
<p>28 名中 17 名と商工会関係者の方の参加が半数以上であった。また、今年度が初めての参加となる方が 20 名と他の会場と比較して多く見られた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上を感じられているようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業も増えていると感じられているようである。さらに中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、地域での指導者育成や確保が必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>昨年度の参加者や顔見知りの参加などが多く、セミナー開始前から和やかな様子であった。午後の演習のケーススタディでは、グループによって、情報セキュリティに対する知識の差が見られたが、グループごとにディスカッションした内容をしっかりと発表していた。また、発表時には、挙手をして発表をする参加者もあり、積極的な姿勢が見られた。</p>				





情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（岐阜）				
開催報告書				
日時	2012 年 1 月 18 日（水） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	ソフトピアジャパンセンタービル 中会議室 1			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	大垣商工会議所、財団法人ソフトピアジャパン、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	大財 健治	総参加者数	36 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	2 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	24 名	その他	13 名
主催者スタッフ	JNSA 井上、林、小島			3 名
参加者の状況				
<p>参加者 36 名中 24 名とほとんどが IT コーディネータの参加者であった。参加者の年齢層は、20 歳代から 60 歳代以上と幅広い年齢層の方が参加されていた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じているようだが、実際に取り組みを始めたばかりのところが多いと感じているようである。また、地域における指導者的立場の人材はあまりいないと感じられているようであり、本セミナーに参加した指導員には地域の中小企業に対して直接指導を行っていただきたいとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>午後の演習のグループディスカッションでは、すぐにディスカッションを始めずに個人で意見をまとめるなど、他の会場とは少し異なる様子が見られた。ディスカッションが進行するにつれ、グループ内で打ち解けてきたようで、どのグループも和やかに意見を交していた。また、ケーススタディでは、システム管理者の立場による意見だけでなく、経営者の立場による意見も発表されており、短い検討時間の中で良く検討されていた。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（宮崎）				
開催報告書				
日時	2012 年 1 月 20 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	宮崎グリーンズフィア壱番館(KITEN)7F 中会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	宮崎商工会議所、宮崎県ソフトウェアセンター、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	大財 健治	総参加者数	33 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	0 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	20 名	その他	13 名
主催者スタッフ	JNSA 林、小島			2 名
参加者の状況				
<p>参加者 33 名中 20 名と参加者のほとんどが IT コーディネータであった。また、参加者 33 名すべてが本セミナーに初めての参加者であった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上を感じられているようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業も増えていると感じられているようである。さらに中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者や従業員への啓発や教育が必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>午前の座学講習では、テキストにメモを取る人やスライドをデジカメで撮影する人など、講師の話に熱心に聴いている姿が見られた。午後の演習のグループディスカッションでは、参加者全員が初めての参加にも関わらず、非常にスムーズに進行しており、どのグループも楽しそうにディスカッションを行っていた。発表では、技術者の立場による意見だけでなく経営者の立場による意見まで検討されていた。また、会場から積極的に挙手もあり、積極的な姿勢が見られた。</p>				



情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（山口） 開催報告書				
日時	2012 年 1 月 27 日（金） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	下関商工会館 第2研修室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	下関商工会議所、ITコーディネータやまぐち協同組合、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	嶋倉 文裕	総参加者数	23 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	2 名	中小企業診断士	0 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	8 名	その他	13 名
主催者スタッフ	JNSA 青木、小島			2 名
参加者の状況				
<p>参加者は、20 歳代から 60 歳代以上と幅広い年齢層となった。山口県での開催となったが、福岡県から近い会場だったこともあり、福岡県からの参加者も見られた。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じられていないようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業もそれほど増えていないと感じられているようである。中小企業の経営者の中には、「自分のところは狙われていない」といった意識を持った経営者もあり、中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者への啓発が必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>休憩時間に講師に質問をしたり、挙手をして自分の意見を発表したりと、一日を通して積極的な姿勢が見られた。午後の演習のグループディスカッションでは、社員への教育・情報セキュリティに対する意識といった部分に着目して、それを中心にディスカッションを行っていた。どのグループも和やかにディスカッションをしており、発表では、他のグループの発表で足りなかった部分を補完するなど、会場の一体感が感じられるセミナーであった。</p>				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（東京②） 開催報告書				
日時	2012 年 1 月 30 日（月） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	東京商工会議所 特別会議室 AB			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	東京商工会議所、日本商工会議所、 全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	富田 一成	総参加者数	71 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	6 名
	商工会関係者	0 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	63 名	その他	9 名
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 加藤 耕三 JNSA 林、水谷、小島			4 名
参加者の状況				
インフルエンザによる体調不良等の欠席により、出席率が 67%と今年度最低の数字となった。また、例年通り、IT コーディネータの参加者がほとんどであった。				
開催地からのご意見				
昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上はあまり感じられていないようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業もそれほど増えていないと感じられているようである。中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者や従業員に対する啓発や教育が必要であるとのことご意見を頂戴した。				
全体の考察				
情報セキュリティへの関心が非常に高く、休憩中に講師に質問をしている参加者が何人も見られた。特にスマートフォンの情報セキュリティ対策を気にしている参加者が多かった。午後の演習のディスカッションでは、最初の自己紹介から和やかで、参加者それぞれが自分の考えをしっかりと発表されていた。				

情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー（福井）				
開催報告書				
日時	2012 年 2 月 2 日（木） 9 : 30 ~ 17 : 00			
場所	福井県産業情報センタービル 2F 会議室 AB			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	ふくい産業支援センター、福井県商工会議所連合会、福井県商工会連合会、 福井県中小企業団体中央会、福井県情報化支援協会、 日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	渡部 章	総参加者数	16 名	
セミナー参加者	商工会議所関係者	0 名	中小企業診断士	0 名
	商工会関係者	3 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	1 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	3 名	その他	9 名
主催者スタッフ	経済産業省 商務情報政策局 情報セキュリティ政策室 枝川 慶彦 JNSA 林、小島			3 名
参加者の状況				
<p>前日から吹雪で積雪も多かったが、16 名の参加者が集まった。IT コーディネータだけでなく、商工会関係や中央会関係の参加者もあり、バラエティに富んだ参加者が集まった。</p>				
開催地からのご意見				
<p>昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識の向上を感じられているようであり、情報セキュリティ対策に取り組み始めている中小企業も増えていると感じられているようである。さらに中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるためには、経営者や従業員に対する啓発、教育が必要であるとのご意見を頂戴した。</p>				
全体の考察				
<p>当日朝の天候が吹雪で遅刻や欠席をする参加者が多く出てしまうのではないかと心配されたが、目立った欠席者などは出ることなく、セミナーを開催することができた。</p> <p>午後の演習のグループディスカッションでは、グループ内で一人ひとりがしっかりと自分の意見を出して、とても活発なディスカッションとなっていた。発表では、全体の人数が少なかったこともあり、心行くまでグループ発表が行えていた。</p>				

以下は、神奈川県商工会連合会から依頼があり「経営指導員研修会」の一環として実施したものである。中小企業向け指導者育成セミナーの内容に準拠して実施したが、一般向けに広く募集を行い実施したものではないため、報告書の開催数や参加者集計からは除いているが、本事業の一環であるため報告書を添付する。

<b>情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー</b> <b>※神奈川県指導員研修</b> <b>開催報告書</b>				
日時	2011 年 11 月 11 日 (金) 10 : 00 ~ 16 : 00			
場所	神奈川県中小企業センター13F 第2会議室			
主催	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会			
後援	日本商工会議所、全国商工会連合会、NPO IT コーディネータ協会、 全国中小企業団体中央会、社団法人中小企業診断協会			
講師	勝見 勉		総参加者数	33 名
セミナー参加者	商工会議所関係者	23 名	中小企業診断士	1 名
	商工会関係者	10 名	EC 実践講師	0 名
	中央会職員・指導員	0 名	日商マスター	0 名
	IT コーディネータ	0 名	その他	0 名
主催者スタッフ	JNSA 林			1 名
参加者の状況				
神奈川県商工会連合会の「経営指導員研修会」として実施。参加対象は、神奈川県の商工会・商工会議所の経営指導員約 40 名に対して案内を出した。中小企業診断士の資格保持者が 1 名いた。				
開催地からのご意見				
情報セキュリティは今後も益々重要度が増していく中、このような講習は重要であるというご意見をいただいた。				
全体の考察				
通常のセミナーより 90 分短い形で実施。経営指導員の方々対象の研修であったため、実際の指導を行っていない方からは「職員が講師をつとめるのは無理。もっと具体的な内容がよい」という意見もいただいた。また、「指導先では情報セキュリティより財務リスクの方が高い」という意見もあったが、全体的には、グループ討議はためになった、2 日間コースが良い、という好意的な意見が多かった。				

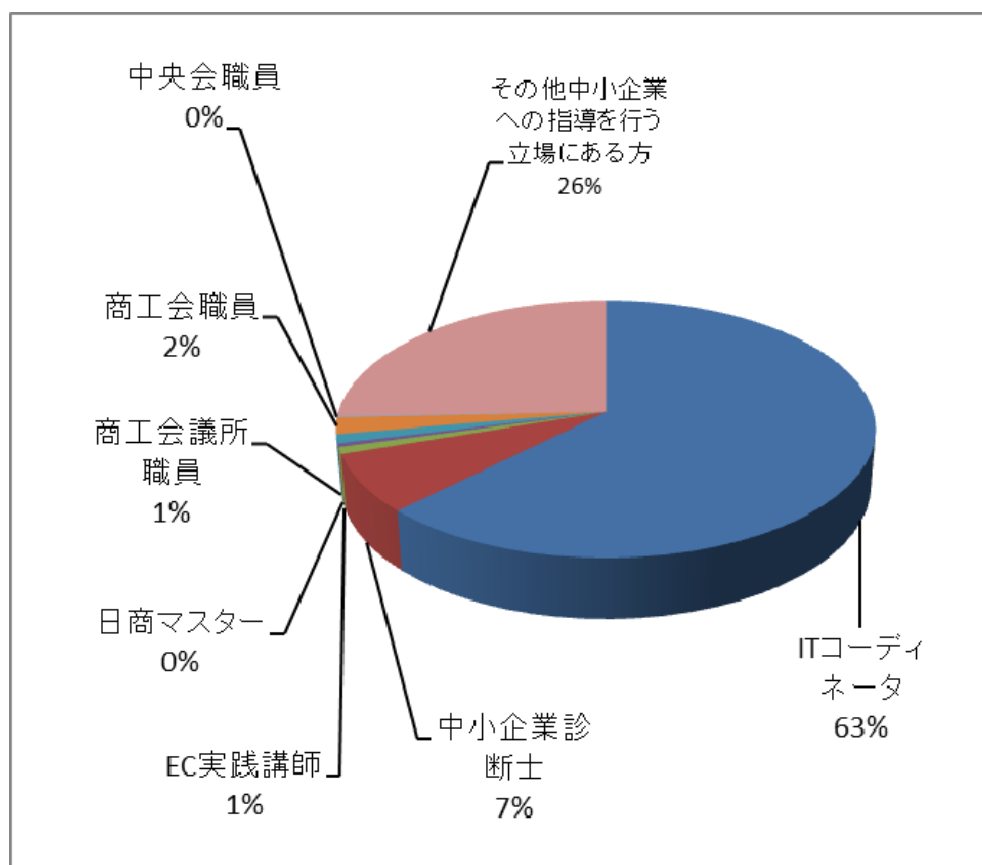
## 第6章 セミナー実施状況

セミナー参加者に対して受講後アンケートを行い、1,143名分を回収し、今回のセミナーに関する意見を取りまとめた。参加の状況及び、受講をした感想について集計し、実施効果の把握とともに今後の課題などについて分析を行った。

### (ア) 参加者の立場

回答項目	回答数
ITコーディネータ	721
中小企業診断士	85
EC実践講師	10
日商マスター	5
商工会議所職員	13
商工会職員	24
中央会職員	2
その他中小企業へ指導を行う立場にある方	294
※ 合計	1,143

※ 複数回答があるため合計は参考値



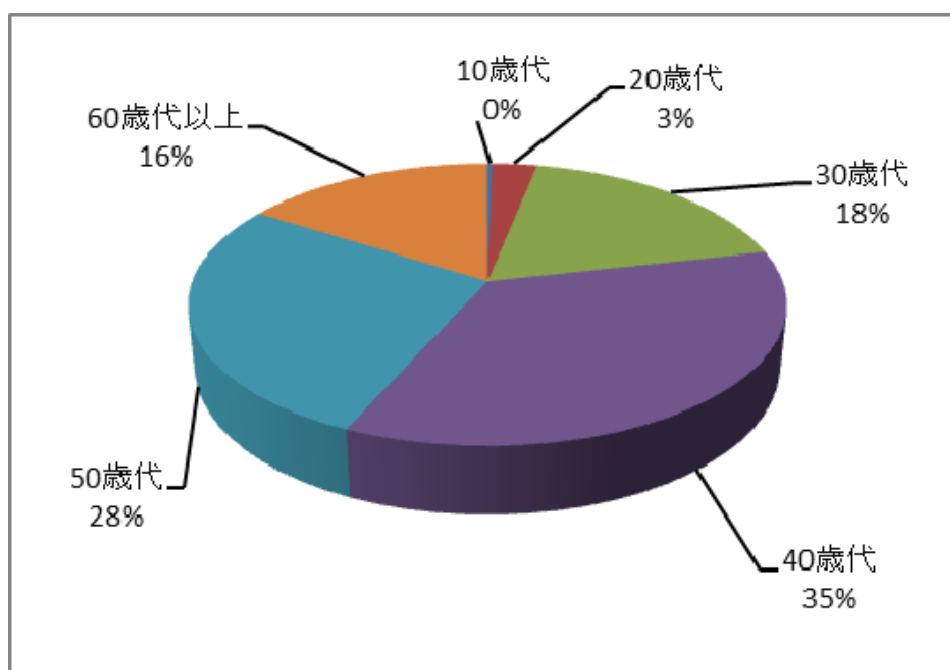
前年度までと同じく、商工会議所、商工会職員及びITコーディネータなど、地域でIT化を支援している人材に参加してもらうことを想定して開催した。実際の参加状況は、ITコーディネータの参加が6割以上、中小企業診断士が7%と、例年と同様の傾向で参加をいただいた。特にITCの参加者が前年度よりも更に増加するなど、地域の中心的指導者として期待される方の受講率が引き続き高い。

対して、商工会議所、商工会、中央会については、セミナーに参加して中小企業の情報セキュリティに関する指導を直接行うことよりも、指導する立場の方々のネットワーク構築や、指導の場の提供といったサポート的立場での関与をしてもらっている。参加者として見た場合には、開催地域で大きなバラツキが見られる。

また、前年度から地域で中小企業の指導を行う立場にある方を広く募集しており、地域での指導的企業や中小企業からの直接参加も継続して呼びかけた結果、中小企業への指導を行う立場の方の参加は前年と同じく 26% であり受講率としては伸び悩んでいる。積極参加を誘導できるインパクトについて考察を重ねる必要があると言える。

#### (イ) 参加者の年代

回答項目	回答数
10 歳代	3
20 歳代	32
30 歳代	204
40 歳代	392
50 歳代	305
60 歳代以上	178
合計(回答数)	1,114

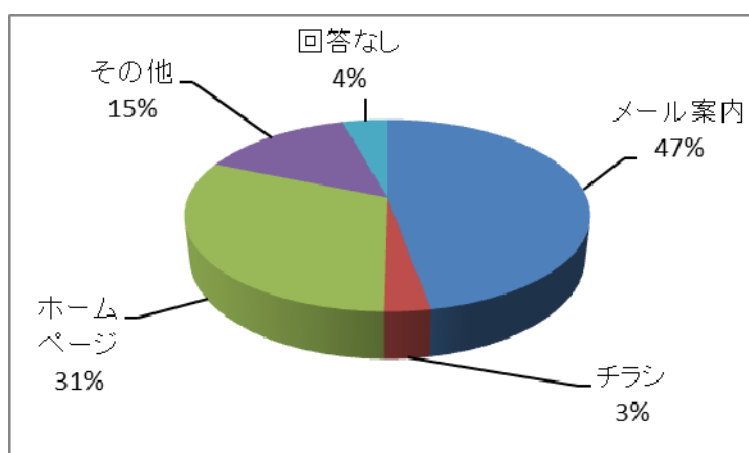


参加者の年齢層は、ほぼ例年と同様の傾向となっている。40 歳代が 35% と一番多く、次に 50 歳代の 28% と、40・50 歳代で 60% 余りを占めている。また、30 歳代も 18% が参加しており、幅広い年代層の参加があったともいえるが、地域での指導的役割を考えた場合に、参加者の立場との相関などを考察し、指導者に必要な人材の発掘と育成を検討する必要がある。

(ウ) セミナーを知ったきっかけ

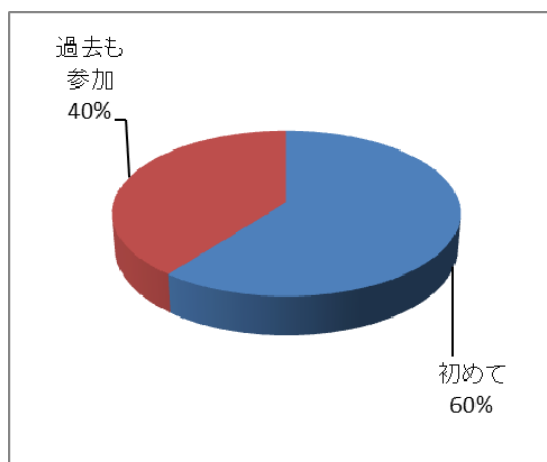
前年同様、メールによる案内とホームページ閲覧が多いが、特に今年度はホームページ閲覧の比率が高くなっている。メールでお知らせを行うことで、ホームページに誘導したり、地域団体に協力し合い各ホームページでの相互リンクを行うなどの集客方法が、参加者の層を考えた場合には効果が高いと考えられ、有効な集客手段といえる。

回答項目	回答数
メール案内	539
チラシ	35
ホームページ	355
その他	165
回答なし	49
合計	1,143



(エ) 過去のセミナー参加状況

回答項目	回答数
初めて	675
過去も参加	441

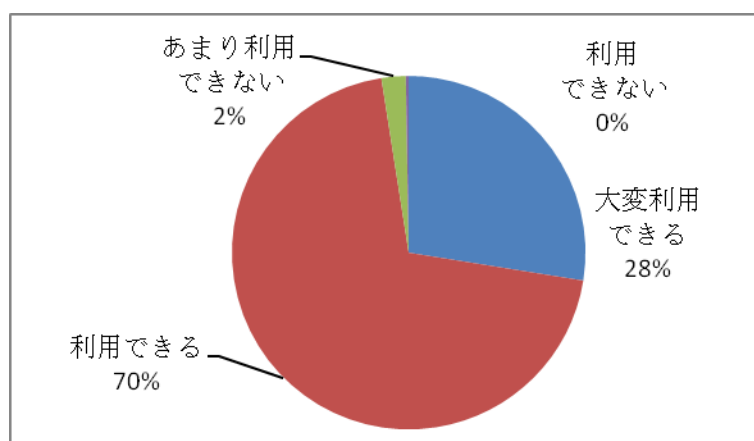


「過去も参加」が座学・演習併用形式を採用した2009年度から増加傾向にあり、本年度は前年度の240名(22%)に比べて倍増していることから、セミナー参加者による座学・演習併用形式の評価が更に浸透した結果によるものと思われる。

(オ)「座学講習実施のためのポイント解説」

① 講習パターンの提案

回答項目	回答数
大変利用できる	311
利用できる	791
あまり利用できない	25
利用できない	3



前年度施策実施の中で、受講者による講習会の講習時間が2時間から2時間半で終了するケースが多かったことから、今年度は、参加者がテキストを使った2時間程度の座学学習を実施する場合の時間配分と説明のポイントを示し、レベルに応じたタイムスケジュールを3パターン作成した。97%の方から好評を博し、役に立ちそうだとの評価をいただいている。

実際には、自分たちで講習会をすることで役に立つのか、修正意見があるかははっきりしてくるが、実施できそうだと感じてもらうことで、講習会の開催を検討してもらえるきっかけになっていると感じる。

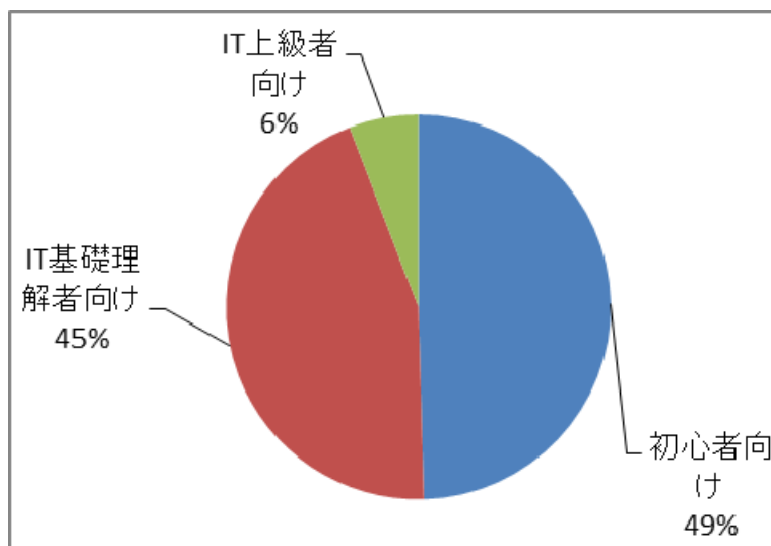
【意見抜粋】

- ・ 参考にはなるが、パターンを作らないとできない参加者は実施は難しいのではないかな。
- ・ レベルを具体的に分けて、このレベルは何ができるようにする。あるレベルに行ったら次はこのレベル、というような指導も必要ではないか。
- ・ テキストにレベルごとに教えるマークをつけてもいいのではないのでしょうか。



② 講習パターンの提案で一番活用しようなもの

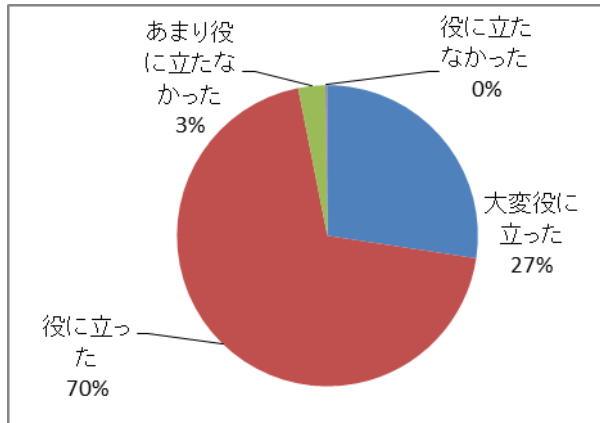
回答項目	回答数
初心者向け	553
IT 基礎理解者向け	498
IT 上級者向け	65



今回のタイムスケジュールは、地域や対象者の特性に応じた活用を期待して、対象者を「初心者向け」「IT 基礎理解者向け」「IT 上級者向け」の3層に分けて表示した。おおむね好評であったものの、層別の基準が定義されていなかったことから、「対象者イメージが湧かなかった」と言う意見もあり、初心者向け」と「IT 基礎理解者向け」への活用パターンへの回答数が拮抗、「IT 上級者向け」は6%と低位になった。

(カ)「情報セキュリティ最新情報解説」

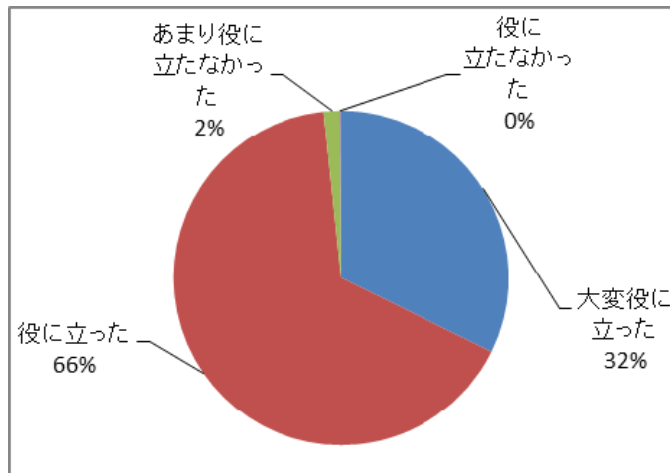
回答項目	回答数
大変役に立った	306
役に立った	776
余り役に立たない	33
役にたたなかった	2



「大変役に立った」(28%)、「役に立った」(69%)と、併せて 97%の方に評価いただいた。「役に立たなかった」(3%)は一部のレベルの高い方や報道されているニュースをよくご存知の方から、「既知の情報」として捉えられたようで、更なる追加情報や事例の紹介、詳細な解説を期待する意見となって現れた。

(キ) 「リスクアセスメント演習」

回答項目	回答数
大変役に立った	349
役に立った	715
余り役に立たない	17
役にたたなかった	1



「大変役に立った」(32%)、「役に立った」(66%)を併せた評価は、前年度の同様の評価となった。

「時間枠をもう少し取って議論をしたい」という意見や、リピーターからは「毎年新しいビデオが欲しい」といった要望が多くあった。「役に立たなかった」と回答された方は1人だけであり、「余り役に立たない」と回答された方のなかでは、以下のようなビデオに対する意見や、一部のレベルの高い方から優先順位付けや定量的な議論を要望する意見もあった。

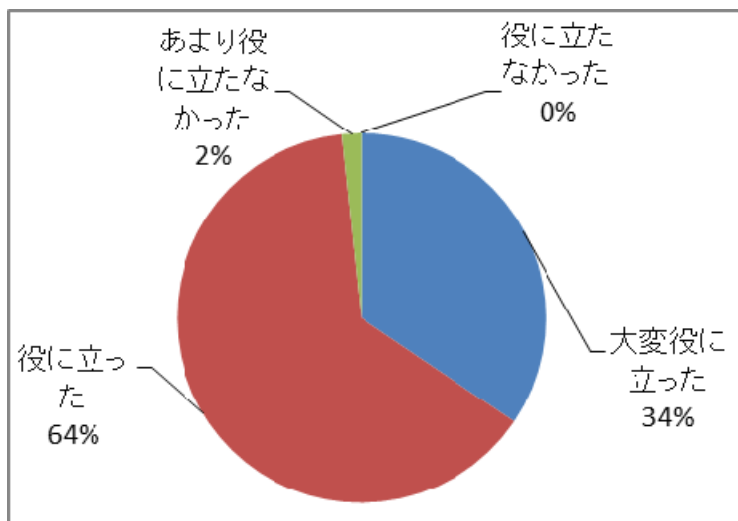
【ビデオの内容への意見抜粋】

- ・ ビデオの内容を実際に被害に遭った企業の実例から、その対応、復旧状況を演習したい。
- ・ ビデオの題材を業種パターン別に提供してもらえると、他業種への教育機会が増える。
- ・ ビデオはリスクの発見から対策で終わっているが、対策を実施したその後の効果について確認をして改善をするフェーズが必要。
- ・ PDCA の C・A を指導できるような内容にして欲しい。

(ク) 「ケーススタディによる事故対応体験」

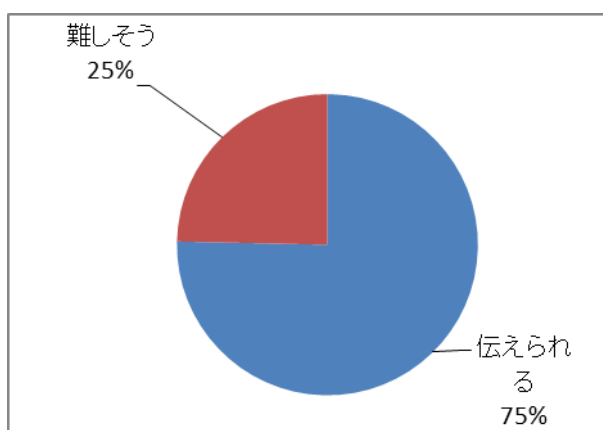
① 体験内容はいかがでしたか？

回答項目	回答数
大変役に立った	363
役に立った	673
余り役に立たない	18
役にたたなかった	0



② 体験で感じた危機感を具体的に伝えられそうですか？

回答項目	回答数
伝えられる	761
難しそう	249



事故対応演習についてはインシデントレスポンスという表現をあえてしないようにし、言葉のアレルギーをなくすようにして行った。特に今年度は「インシデントレスポンスができる人材」ではなく、事故が発生したときの危機感や対応の大変さを「臨場感を持って経営者に伝えることのできる人材」を育成することを主眼とした。

アンケート結果としては、「大変役に立った」(34%)、「役に立った」(64%)と 98%と高評価。プログラム開発時から懸案であった討議・検討時間が足りないとの意見も出てきたが、「役に立たなかった」の回答は0であった。

「余り役に立たない」の理由は「演習の進め方」「ケースの状況設定の曖昧さ」「ケースの現実との乖離」などであり、本来長時間を要する内容を短時間でまとめる難しさも露呈した。

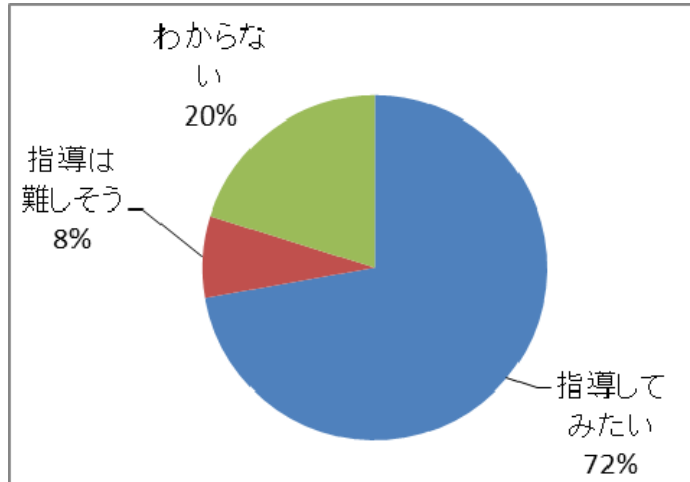
また、「危機感を具体的に伝えられそうですか」の問いには、演習の進み具合を把握し、経験談を交えた平易な話法を行うなどの、講師の状況把握や運営能力が必要とされる意見が多くあり、「難しそう」と解答された方も 25%となった。

実践しにくい内容であることも確かだが、事故対応は非常に重要な内容であり受講者評価も高いだけに、レベル分けをして行ったり、すべての時間を使うプログラムにするなどの、さらなる検討が必要である。

(ケ) 今回のセミナー内容での実際の指導希望項目

① テキストを使用した座学講座

回答項目	回答数
指導してみたい	782
指導は難しそう	84
わからない	218

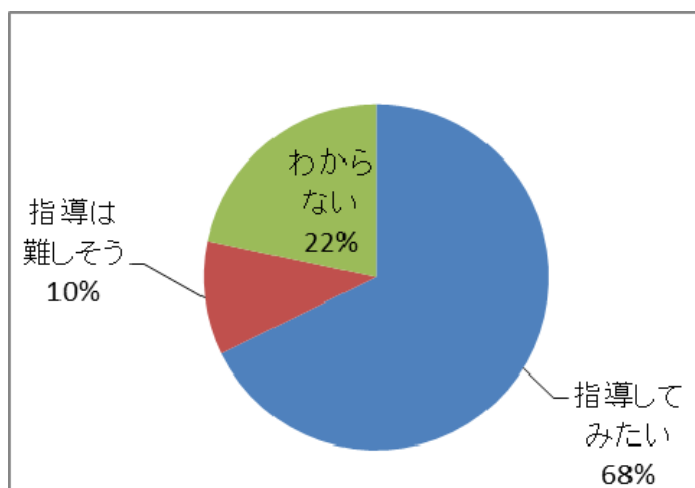


実際にテキストを使って指導をしてみたいかを確認したところ、「指導してみたい」(71%)と多くの支持者を得た。一方で、講師自身のスキル度(知識・経験・話法)に加えて、指導先の理解度の低さに不安を感じる意見が多く、「わからない」と回答された方が20%、講習機会を作ることが困難等の理由から「指導は難しそう」と回答された方も9%となった。

指導までは実践が難しい、あるいは不安だと考えている方がまだまだ多いというのが実態である。

## ② リスクアセスメント演習

回答項目	回答数
指導してみたい	732
指導は難しそう	115
わからない	234



指導してみたいという方は68%と半数以上が意識していただいているが、座学に比して若干低く、知識・経験・話法・誘導能力といった講師自身のスキル度合に深みと専門性を強く感じるためか、躊躇される回答が多くなっている。また「わからない」と回答された方も座学より多い22%となった。慎重意見が多く、指導は難しそうと回答された方が10%となった。

### 【躊躇・慎重意見の抜粋】

- ・ 参加者を集めるのが難しいと思う。
- ・ 対象者をどの層にするかの判断がつかないため。
- ・ そのときだけで終わりそう。機会があればということ。
- ・ 2時間演習でコンパクトに実施することが難しそう。

## (二) セミナー全体に対する感想や意見

総合的な意見としていただいているもののほとんどが、好評価の意見を明記いただいております、特に、ビデオやケースを使った演習中心の実施形式に対する評価が高く、もっと時間を割いても受講したいという意見が多かった。

また、演習形式での指導をより有効なものにするために、指導ツールとして、業種別や最新事例に基づいたビデオ提供の要望意見もあり、より現場での指導を意識して受講いただけた。

非常に多くの参考になる意見をいただいております、それだけでも本事業への期待を感じさせるものとなっている。紙面の都合上、以下に代表的なものを抜粋して記載させていただく。

- ① セミナー運営(時間配分等について)
  - ・ 資料が盛り沢山、内容が盛り沢山の時間が足りない。確認する場面が無い。
  - ・ 事前に予習ができる工夫が必要。テキストを読んで分かるものは省略するもあり。
  - ・ 演習時間が短かった。演習内容にあった時間配分が必要。
- ② テキストの内容について
  - ・ 使用しているデータや情報が常に最新化されていないと使いにくい。
  - ・ 経営者に何故、どこまで対策が必要かを記載して徹底すべき。
- ③ プログラム内容について
  - ・ 手続き、規定やルールをどのように策定すべきかなどもコースに入るとよい。
  - ・ 経営者やシステム管理者は基礎知識よりも実践的な指導を望んでいる。演習中心でもう少しレベルを上げた(対象者に合った)内容を期待する。
  - ・ 毎年初心者向けのコンテンツが多い。レベル別を対象とした演習を作成していただくとスパイラルアップできる。
- ④ ビデオの内容について
  - ・ 来年度は是非新作をお願いします。
  - ・ 題材に使うケースに「発注側(ITベンダー)への心得」もあったほうが良い。
  - ・ ケーススタディによる事故対応体験も実際に起きた事例でビデオ化して欲しい。
- ⑤ 説明資料について
  - ・ テキストの問題点と演習における対策を紐つけた説明資料が欲しい。
  - ・ 短めの説明資料が欲しい。(2時間の演習併用の講習会では座学で使用できる時間は1時間が限界)
  - ・ 大企業と中小企業の情報セキュリティリスク差、中小企業セキュリティ事故の実情(実際の被害状況、困り具合など)を詳しく説明した資料が欲しい。
  - ・ IT上級者向けの教育資料や最新のウイルス対策情報に関する資料。



## 第7章 開催会場からの意見

開催に協力いただいた商工会議所、商工会連合会等(29 団体)に、地域の中小企業における情報セキュリティ対策の現状を踏まえつつ今回のセミナーに関する意見を取りまとめた。

なお、複数回答設問については設問回答数合計が 29 件以上、回答がなかった設問は回答総数の 29 件に満たないものがある。

(ア) 昨年度と比較して情報セキュリティに対する中小企業の意識は向上してきたと感じるか？

感じる	あまり感じない	むしろ低下していると感じる
17	12	0

事故や実害があつて初めて対応を考える企業はまだ多いが、昨年よりも意識の向上を感じるという回答割合が増えており、意識はまだながらも徐々に上がり始めているという状況がうかがえる。

個別意見としては、震災の影響やマスコミからの情報増加により、意識の高まりを感じるという意見が多くなっている。

### 【自由意見】

- ・ セミナー等への参加が増えている。
- ・ マスコミなどから情報を得て少なからずは認識されていると思います。
- ・ 震災後のBCPと関連させる企業が増えた。
- ・ 例年、同様のテーマのセミナーには多くの企業が参加するため、あまり感じない。
- ・ やり方が分からないのではないかと思うことはある。

(イ) 昨年度と比較して情報セキュリティ対策に取り組み始めている企業が増えていると感じるか？

感じる	あまり感じない	むしろ低下していると感じる
12	17	0

感じるといった意見では、毎年このセミナーを実施しており、参加者が増えているため実感として感じているという意見。

一方で、認識はあっても取り組みへの余裕や気持ちがない、自分のところは大丈夫という意識があり、適切な対策がなされていないと感じられる。

### 【自由意見】

- ・ セミナー等への参加が増えている。
- ・ 「取り組みはじめたばかり」と感じる。
- ・ 鹿児島における取組は遅れていると感じます。
- ・ 認識されていても、取り組む余裕や気持ちがないと思います。
- ・ 自分のところは狙われていないという変な自信をもっている。

(ウ) 地域における指導者の立場の人材の現状についてどう思うか？

十分にいる	十分ではない がいる	どちらとも いえない	あまりいない
1	19	7	2

まだまだ十分にいるという地域は少ないが、ITコーディネータなどの能力を持った方の活用に期待する声があった。

特に、中小企業と、必要とされる情報セキュリティ人材との出会う機会が少なく、必要とされる指導がなされないという実態がある。

各地域ごとのコミュニティや指導体制を含めて、構築を考える必要がある。

【自由意見】

- ・ 質の高い人材不足
- ・ 特に町村地区については、人材不足を感じる
- ・ 商工会議所に人材が不足している
- ・ 指導的立場の人材が活躍できる基盤がない
- ・ 人材の存在が(利活用の方法が)中小企業に見えていない
- ・ ITコーディネータはいるが、活動状況や地域での指導内容については把握していない

(エ) 中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるために何が必要か。

(上位3つまで複数回答可)

対策項目	回答数
経営者への啓発活動や対策方法の教育	29
従業員への啓発活動や対策方法の教育	17
地域での指導者育成や確保	9
対策費の補助といった支援プログラム	17
その他	1

昨年に比べると、経営者への意識啓発と支援プログラムの充実に関して回答数が増えている。特に支援プログラムの伸びに関しては、意識の啓発がなされてきている中で、適切な対策には人的・金銭的支援も必要となってきたといえるだろう。

(オ) セミナー参加者の指導者としての活用

対策項目	回答数
商工会議所等主催でセミナー等を開いて講師として活用したい	18
中小企業に指導員がいることを案内して直接指導してもらいたい	15
特にない	2

今回のセミナー参加者には、情報セキュリティの指導員となって各地域で中小企業に対する指導を行なってもらうことを要請しており、開催会場ごとにセミナー参加者による講師等の対応機会を確認したところ、中小企業経営者に会場に来てもらいたいという意見は18件で約半数、各企業に指導員として直接訪問してほしいという意見と半々であり、一昨年(7件)、昨年(12件)よりも講師としての活用を考えている会場がさらに増えてきている。徐々にではあるが年を追うごとに情報セキュリティ対策に関する相談を、会場と指導者が一体となって考え始めている状況となった。

(カ) その他の要望事項

- ユーザー(中小企業)と指導員とが相互の理解を図るために、同一のテーブルに着いた研修会等を実施してみてもどうか。
- 東日本大震災のこともあり、中小企業の経営者の意識も向上しつつあるようですが、実際には取り組んでいないところも多いです。啓発だけではなく、支援体制強化や補助等の具体的な支援プログラムは必須と考えます。
- 専門家派遣事業などが必要と考える。
- セキュリティでは人が集まらない。来客のためのインセンティブとなるものが必要(そのために対策費の補助といった支援プログラムを希望)
- 中小企業の専門的な相談にのれる人材の育成並びに紹介をしていただきたい。
- 事業として、エキスパートバンク(専門家派遣)を行っているので、今後セキュリティ対策に関する相談があった際には今回の受講者等に依頼していくことも検討したいと思えます。
- 本所としても、企業の情報セキュリティをテーマとしたセミナーを年 1 回開催しているが、各企業がどのような情報セキュリティ対策を講じているか、状況を把握していない。また、地域における指導者の立場の人材の活動状況も把握していない。ITコーディネータなどとの連携が必要か。
- 機会があれば又、実施したいと思います。ありがとうございました。

## 第8章 商工会議所・中小企業団体中央会からの意見

今回の促進事業では、各地の商工会議所及び都道府県中央会と連携を行ったことから、地域での情報セキュリティ対策の促進のために、各地の商工会議所・都道府県中央会が把握している現状についてアンケート調査を行い、今後より効果的な対策を実施するための現状分析を行った。

なお、回答がなかった設問については設問回答数合計が回答総数の65件に満たないものがある。

(ア) 県別の回答状況(回答総数:65件、うち商工会議所43件・中小企業団体中央会21件)

北海道		北海道	
		1	1
商工会議所		1	1
中小企業団体中央会		0	0

東北		青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
		6	0	1	1	1	2
商工会議所		3	0	0	1	0	2
中小企業団体中央会		3	0	1	0	1	0

関東		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
		16	1	2	2	1	2	1
商工会議所		9	1	1	1	0	2	1
中小企業団体中央会		7	0	1	1	1	0	0

新潟県		山梨県	長野県	静岡県
		1	2	1
		0	1	1
		1	1	0

中部		愛知県	岐阜県	三重県	富山県	石川県
		11	3	4	2	0
商工会議所		8	3	3	1	0
中小企業団体中央会		3	0	1	1	0

近畿		福井県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
		9	1	0	1	2	2	1
商工会議所		7	1	0	0	2	2	0
中小企業団体中央会		2	0	0	1	0	0	1

中国		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
		6	1	0	2	1
商工会議所		4	0	0	1	2
中小企業団体中央会		2	1	0	1	0

四国		徳島県	香川県	愛媛県	高知県
		4	0	1	2
商工会議所		3	0	1	2
中小企業団体中央会		1	0	0	0

九州		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県
		10	5	0	0	0	2	2
商工会議所		7	4	0	0	0	1	1
中小企業団体中央会		3	1	0	0	0	1	0

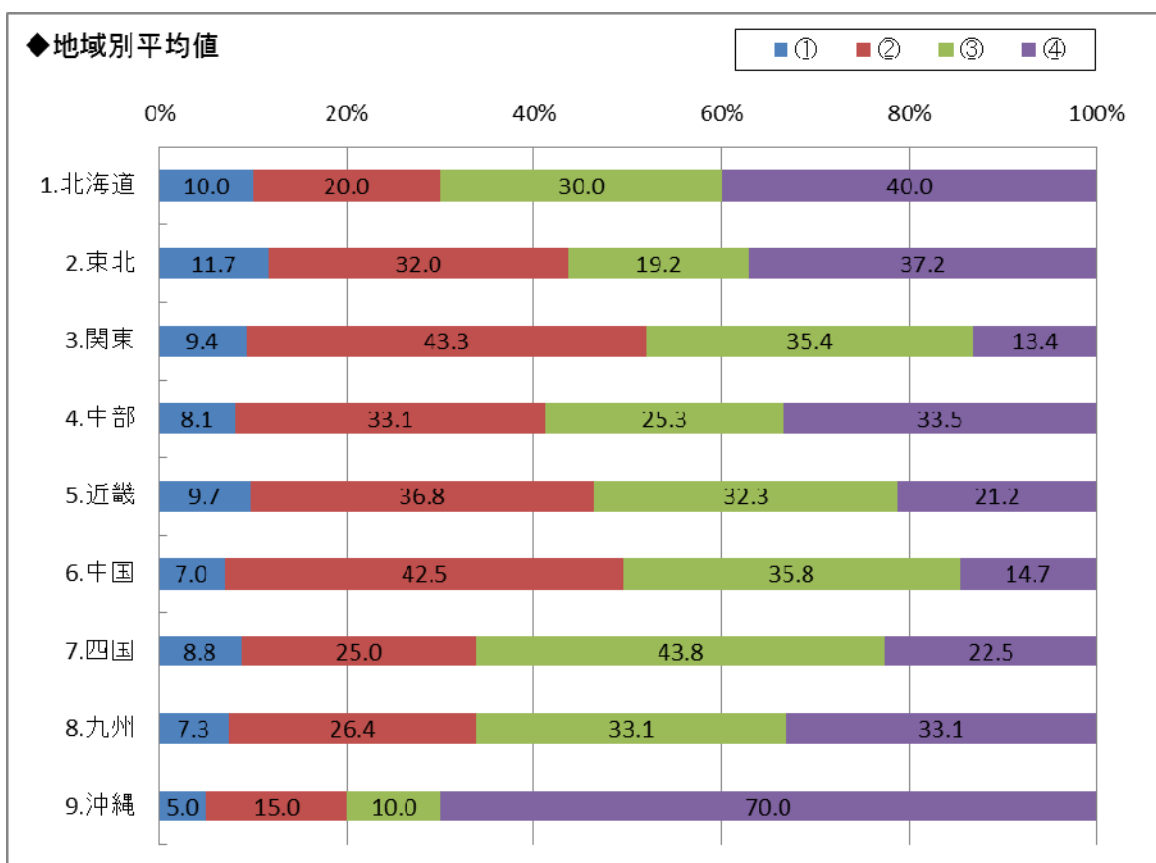
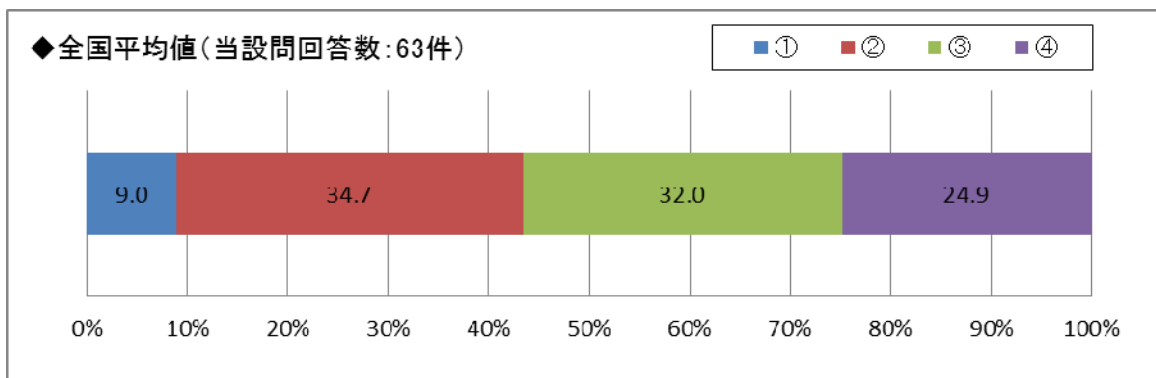
  

沖縄		沖縄県	不明・その他
		1	1
商工会議所		1	1
中小企業団体中央会		0	0

(※地域の区分は、経済産業局管轄区域に基づく)

(イ) 傘下中小企業・団体におけるIT活用状況はどの程度だと思いか。傘下中小企業・団体全体を100%と考えた場合、次の4段階のレベルの企業比率を、回答してもらった。

- ① Web ショップによる顧客開拓、協力企業間で EDI 構築による商取引を駆使するなど、ビジネスに存分に活用している。(IT 活用度 高)
- ② ホームページによる宣伝や、電子メールでの情報交換を積極的に行なうなどビジネスに利活用している。(IT 活用度 中)
- ③ 社内の業務システムを中心に利用している。(IT 活用度 低)
- ④ ほとんど利用していない。(IT 活用度 無)



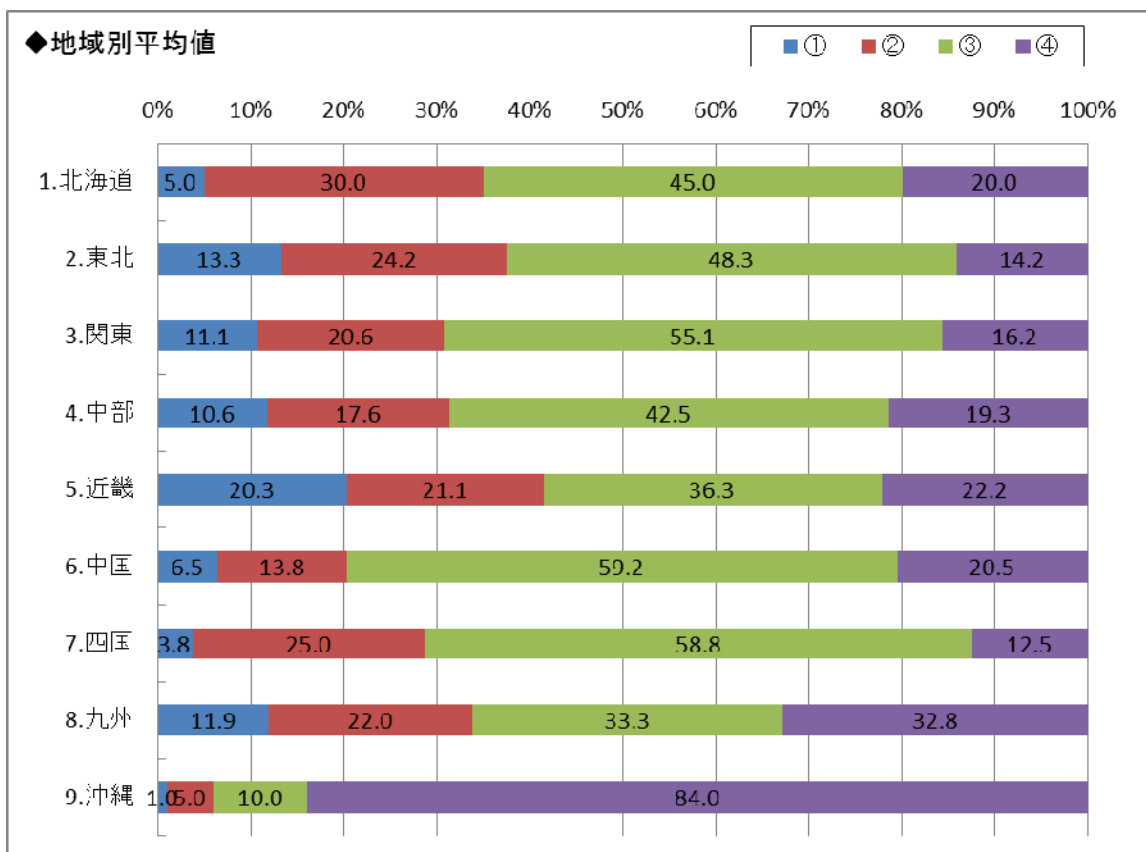
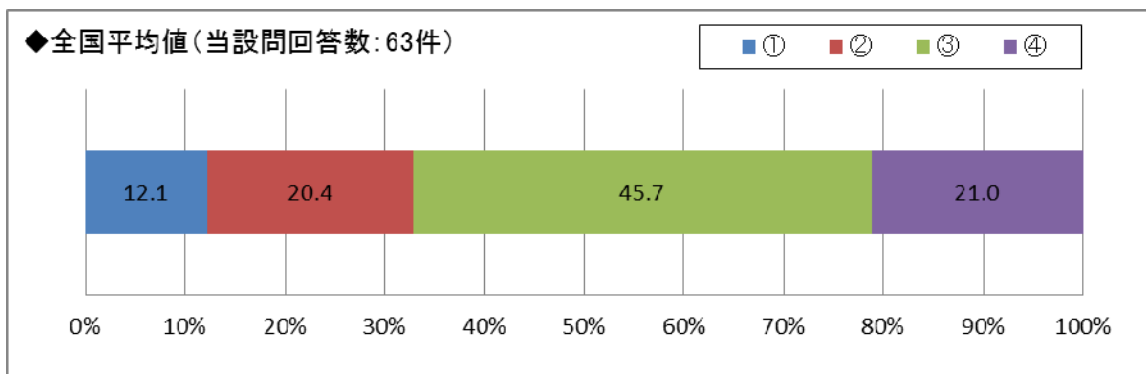
情報セキュリティへの意識及び対策状況には、IT活用の度合いが大きく影響するといえることから、会員企業の IT 活用状況を聞いている。

IT 活用度 高①とIT 活用度 中②の合計で、昨年は 41.2%であったが、今年の調査では 43.7%と、IT活用度が若干だが上がってきている。

また、昨年と比較してIT活用度の高い企業比率は、関東・近畿・中国が上がっており、また例年の傾向として、関東から遠い地域ほど活用度が低い傾向となっている。

(ウ) 会員企業(主に中小企業)の情報セキュリティ対策度は、どのレベルにあると思うか。すべての会員企業を100%とした場合、次の4段階のレベルの企業比率を、回答してもらった。

- ① 会社全体として対策が実践されると共に、定期的な見直しがされ、適切な運用が行われている。
- ② 会社全体で対策は行われているが、定期的な見直しが行われていない。
- ③ 対策は行われているが、ウイルス対策など一部のみに留まっており、会社全体での対策は不十分である。
- ④ ほとんど対策が行われていない。



商工会議所等の地域団体が会員企業との日常の交流から感じている定性的な情報であり、個別の事象を具体的にチェックしたものではないが、おおむね地域間の特性をつかむことができる情報として分析を行った。

前年までも同項目で調査を行っており、レベル①が3年前7.7%、前々年10.3%、前年11.3%から、今年は12.4%、になるなど、徐々にではあるが対策度のレベルが上がってきている。全国の地域別対比で見ると、対策は一部あるいはほとんどされていないという回答が多いのは、沖縄、次いで九州であり、特に沖縄は「ほとんど対策が行われていない」が84.0%と全国比で大きく遅れている。

(エ) 傘下中小企業・団体の情報セキュリティ対策の現状を、5段階で一番近いと思われるレベルにチェックしてもらった。

① 経営者の意識の持ち方や対策のための知識

どの企業も高い	一部の企業を除き全般的に高い	どちらともいえない	一部の企業を除き全般的に低い	どの企業も低い
0	4	23	36	2

どちらかという低い状況だという意見がデータから見てとれるが、低いと答えた企業の割合は増えており、情報セキュリティ対策の重要性が高くなってきているほどには経営者の意識は高くなっていないと感じられているようだ。

個別の意見としては、意識の高い企業、低い企業の対策格差が大きく、その格差に応じた啓発施策や指導方法が必要となっている。

【自由意見】

- ・ セキュリティ対策の重要性は以前より高くなった
- ・ 一部の先進企業とそれ以外の企業とのレベル差が大きい

② 従業員の意識の持ち方や対策のための知識

どの企業も高い	一部の企業を除き全般的に高い	どちらともいえない	一部の企業を除き全般的に低い	どの企業も低い
0	4	23	37	1

おおむね経営層と同等の回答数であり全体的に意識は低く意識格差も大きいですが、昨年の回答以上に低いと答えた比率が大きくなっている。経営者と同じく、情報セキュリティ対策の重要性ほどは、企業の意識や対策が進んでいない可能性がある。

情報セキュリティの現状を正確に伝えるとともに、企業ごとに実施している対策で大丈夫なのかを定期的に確認して見直すことができるように指導して行く施策が必要と言える。



(オ) 地域における指導者の立場の人材の現状

① 指導的立場の人材の有無

十分にいる	十分ではないが いる	どちらとも いえない	ほとんど いない
1	28	18	18

地域にもよるだろうが、情報セキュリティ分野における指導的立場の人材は増加しているわけではなく、専門業者などに頼る必要も出てきている。特に対策が高度かつ広範になってきている現状から、情報セキュリティをいくつかの専門分野に細分化し指導できる分野を明示するなど、必要な知識と対策のマッチングを行えるようにすることも必要となってきた。

【自由意見】

- ・ 人材の確保が難しい
- ・ セキュリティ専門の企業が存在する

② 指導的立場の人材に期待する指導内容

対策項目	回答数
経営層の意識の持ち方や体制・ルール作りと言った組織的対応	42
情報システム及び通信ネットワークの運用管理	34
情報システムへのアクセス制御や情報システムの開発、保守	7
クラウドやスマートフォン、タブレット端末などのモバイルと言った新しい情報技術の活用	27
建物やPCの管理などの物理的・環境的な対応	12
情報セキュリティ上の障害・事故対応、BCP(事業継続)対応	40
企業が知っておくべき情報セキュリティ関連法令・制度	28
その他	0

昨年に比べて、アクセス制御や開発などは減少し、クラウドなどの新技術に関する指導を期待されているという傾向が強い。また、意識やルール化、あるいは運用管理や事故対応といった部分は継続して期待が高く、IT活用企業の増加と、それに比例するように高まる事件・事故に対して情報セキュリティへの意識が高まっている表れといえる。

(カ) 中小企業の情報セキュリティ対策を向上させるために何が必要と思うか。いくつかの選択肢を示して、必要と思われる項目を挙げてもらった。(上位3つまで複数回答可)

対策項目	1位	2位	3位
経営者への情報セキュリティ意識啓発活動	43	3	4
経営者への情報セキュリティ対策方法の教育	8	9	2
従業員への情報セキュリティ意識向上・啓発活動	1	21	6
従業員への情報セキュリティ対策実践教育	3	11	15
市場や顧客からの信頼・評価	2	1	4
情報セキュリティ対策技術の習得・向上、対策ツールの利用・開発	0	3	6
企業内の体制整備	5	7	10
情報セキュリティ関連法制度の整備	0	0	0
地域での指導者育成や確保・サポートセンターの充実	1	5	7
対策支援費等の補助制度の充実	1	5	11
その他	1	0	0

まずは前年と同様、経営者への啓発活動が圧倒的多数となった。次いで、従業員への啓発と対策方法の教育という意見が多く、経営者が必要性を知り、従業員が適切な対応を行うことが企業活動では重要と考えられている結果となった。

また、対策支援費等の補助制度の充実は、多数ではない継続して出てくる意見である。経営者と従業員への意識啓発と継続教育と並行して支援制度として提供することで、企業内での対策が進んでいく可能性もある。

(キ) 今年度の情報セキュリティ指導者育成セミナーと今後の実施に関する意見を伺った。

① 本セミナーについてご存知でしたか。

はい	いいえ
41	22

本セミナーの認知度は昨年までは半々であったが、今年のご存知の比率が上がった。できれば100%近い認知度にはしたかったところだが、セミナー実施のPRという観点ではなく、実施可能性があり、集客が見込める地域から確定して行ったことを考えると致し方ない結果であろう。ITコーディネータの地域団体や地元のNPOの協力で、会場を商工会議所等を利用し、運営を地域のNPOなどという体制が増えて来ていることから、より一層関係団体の連携体制を作っていく必要があるだろう。

② 今後も、積極的に実施したほうが良いと思われますか。

ぜひ必要	どちらかといえば必要	どちらともいえない	あまり必要ない	必要ない
14	29	21	0	1

実施にはおおむね賛成が多く、必要はないとの意見は非常に少ない結果となった。特に地域の人口規模に比例することなく、団体ごとの担当者の意識によるところが大きそうである。

実施内容に関する要望もお聞きしたが、日常業務におけるセキュリティ対策や基本的知識の習得といった初級セミナーの要望があり、地域によってはまだまだ基礎知識のレベルを望む声が多い。

この他、中小企業もホームページの活用が重要となっているため Web 研修は SNS 利用に関する内容が挙げられたり、防災やデータ保全といった BCP に関する内容も要望されている。

③ 本セミナーの参加率を高めるための意見やアイデア

日程について、テーマ別に短い時間帯で日程を分けたり、複数開催にするなど、参加希望者が日程調整がしやすい形にする。内容は受講レベルに合ったものを工夫する。あるいは経営指導員研修のメニューとして各都道府県で採用を働きかけるなどが挙げられた。

また、PR 方法については、企業経営者に直接届くような周知が必要で、地域の NPO や団体だけでなく、IT ベンダーも巻き込んでの PR も必要ではないかという意見もあった。

④ 貴団体での実施を希望、または実施依頼をすれば検討いただけますか？

ぜひ実施を希望する	依頼があれば検討する	実施は難しい
6	39	19

前々項の質問では実施に対してはおおむね賛成であったが、自団体での実施は難しいとする意見が相当数出てきており、総論賛成各論反対という状況となっている。特に参加者募集に不安を抱いているという意見が多く、少人数しか集まらなかった時に、開催団体として申し訳ないという意識が強いようである。地域で運営する事務局的存在として地域 ITC 団体との連携など、さらに安心して会場提供いただける環境作りが必要であろう。

(ク) 会員企業向けに IT 化促進支援事業(出来れば、情報セキュリティ対策に関連)として、活動されている主なものを自由記述してもらった。

活動内容	回答数
IT セミナー、パソコン教室	14
パソコン出張サービス、巡回指導	3
情報セキュリティセミナー (IPA 含む)	12
経営講習会	2
IT 無料相談	2
ホームページ作成支援	3
会報等による啓蒙周知	4

(ケ) 会員向けに情報セキュリティ対策を行う際に、現時点で指導者の立場として応援を求める方がいるかどうかを、選択肢から選んでもらった。(複数回答可)

対象者	回答数
ITコーディネータ	43
中小企業診断士	22
EC実践研修認定講師	3
日商マスター	0
公認会計士、税理士などの財務専門家	2
弁護士、司法書士などの法務専門家	2
貴組織内の相談員	8
民間のITベンダー	42
その他 ※	5
誰もいない	0

【その他の内容の主な対象者】

- ・ 地域の IT 関連団体、NPO
- ・ 外部委託業者、コンサルタント

(コ) 其他のご要望事項

- ・ 情報セキュリティ対策以前にIT化が充分進んでいるといえない状況。分かっているための漠然とした不安を取り除くために専門機関からの情報提供・対策提案などしてほしい。
- ・ セミナーを開催する場合の費用負担、受講者数の下限等といった開催必要条件を知りたい。

## 第9章 担当講師からの意見

今回の指導者育成セミナーを担当した当協会所属の講師から、実施した側としてどのような効果があったのか、あるいは課題としては何があると考えているかの意見を求めた。

討議形式で行ったものの概要を、テーマ別に以下に記しておき今後の参考意見としたい。

### (ア) セミナー講師の育成方法

- ・ 講師用ツールは充実してきており、セミナー内容の均質化という点では非常に良かった。
- ・ 講師を行うには、事前に他の講師のセミナー聴講を必須としたが、目立った不満などが出てこなかったことから、育成手法としては良かった。

### (イ) セミナー参加者のスキルレベル

- ・ 参加者のスキルがバラバラであったが、セミナーのスムーズさを考えるとレベルごとに集めることも検討が必要。
- ・ 色々なレベルの参加者がいるのは、意識向上の意味でも良い傾向ではないかと思うが、演習の時には発言が偏らないように調整は必要。
- ・ 知識や指導経験がない参加者では、地域での指導者として活動するのは難しいのではないかと思う。指導者を目指して参加するのか自己学習を目的とするのかを選択させるなども検討が必要。

### (ウ) セミナー内容

- ・ 午後の演習の予備知識を、午前の最後の座学で実施できたので理解しやすい良い構成だった
- ・ 業種に合った事例を使うなどをしないと、ビジネスへのインパクトを明確に伝えることが難しいかもしれない。
- ・ 最低限やらなければいけないことや、PDCA サイクルでどこからやって行くのかなどのようなものも教えて行く必要がある。
- ・ 演習をやりっぱなしではなく、まずは何をやる必要があるのかなどがわかる資料やチェックシートがあると良い。

### (エ) 想定する企業規模

- ・ ビデオに出てくる小企業をイメージした演習としたことで、企業規模が合っていないという意見は少なかった。
- ・ 規模というより業種や業界特有な事例が出せたほうが良い。

### (オ) 配布資料

- ・ テキストは最新情報が盛り込めて非常にタイムリーな情報提供ができた。
- ・ ビデオの評判はすこぶる良いが、最新のものがあって良かった方がいだろう。
- ・ セミナー資料は非常に充実してきており、量的には十分となっている。
- ・ 講師は多くても数回しか実施しないため、非常に多くの講師用ツールを別々配布ではなく一式にして使う順番が分かるようにしてあると助かる。
- ・ 講師用マニュアル・受講者用テキストともに評判がよく、講習会に使いやすく、中小企業の層に合っているとの評価。

## 第10章 地域での講習会の開催

指導者育成セミナー受講者が、実際に指導者として各地の中小企業の経営層の方々に対する「中小企業向け情報セキュリティ対策講習会」を実施してもらうことで、本事業の目的とする中小企業経営者への指導者としての経験を積んでもらうこととした。

対象とする講習会は、平成24年2月末までに開催し、2社10名以上に対して最低2時間を実施。中小企業の企業内の情報セキュリティ対策を行う経営者等に対して、講習用テキストの内容に基づいて、講習を行うこととした。

また、講習会を実施する指導者として、地域の中小企業に広くお知らせするため、指導者氏名等(希望内容のみ)を本促進事業のホームページに掲載した。

<指導者のご紹介ページ>

<http://www.jnsa.org/ikusei/seminar/instructor.html>

講習会を開催した際に、参加した受講者からアンケートを収集するとともに、開催状況を当協会に報告してもらっており、実施された講習会の実施状況等を以下に記載する。

### (ア) 開催回数……………59回

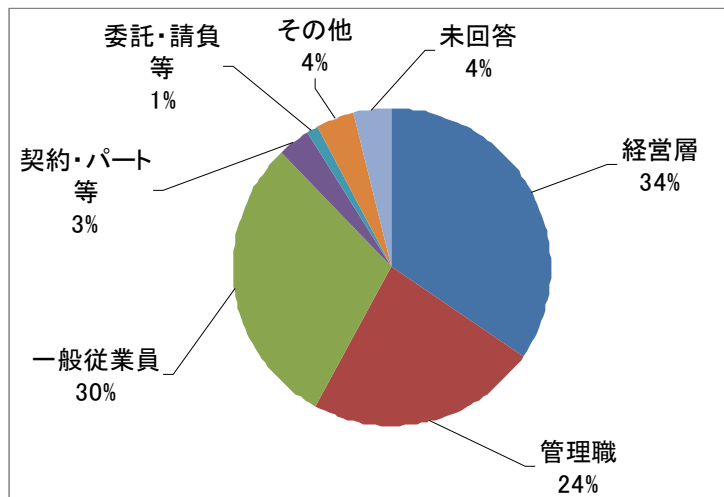
受講したセミナーを参加者が地域に帰って実際に講習会として実施していただくことを推奨して3年目。今年度は前年度の58回を上回り、ある程度定着してきたといえる。

今年度は複数社を受講対象として参加いただくよう要請したことから、開催数は大幅増とはならなかったが、講習会に参加した企業数は増えており、主旨に沿った開催がなされた。

### (イ) 受講者……………816名

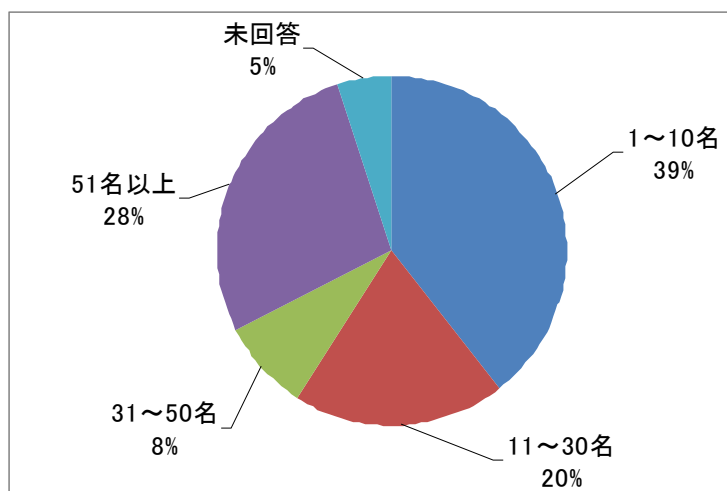
役職階層別内訳		受講者数
経営層		281
管理職		192
一般従業員		244
契約・パート		27
委託・請負		8
その他		32
未回答		32
合計		816
再掲:	専任	42
システム部門	兼務	285

※受講者の816名は、事務局で報告を受け把握している人数であり、独自の講習会を含めると、さらに400～500名増えると予測される。



(ウ) 参加者の属する組織の従業員数

従業員数	回答数
1～10名	321
11～30名	161
31～50名	68
51名以上	225
未回答	41
合計	816



(エ) 講習内容

回答項目	回答数
ビデオ演習	42
インシデント演習	13
テキスト講習	52
その他	35

テキストを用いた座学が多く、IT活用や最新情報が記載されている講師用テキストが重宝するとの意見が多く聞かれた。ビデオを使用したリスクアセスメントの演習は今年度も多く取り入れられ、リスクの発見と対策案の検討は実施しやすいという意見が多かった。

インシデント演習は、今年は実施をするためのではなく危機感を伝えてもらうことを主眼に置いてセミナーを実施したが、講習会での実施も13件と昨年と同程度の実施数となった。本来は気づきを与えるだけでなく、事故対応という非常に重要な内容であるが、1日という短時間で正確な理解は難しいため、あえて粒度を荒くして危機感を伝えることを中心として実施している部分である。講師の力量などによって実施ができるような講師用ツールの提供なども検討して行く必要があるだろう。



(オ) アンケート集計結果

◇ 講習内容について

1. 講義全体

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
316	317	122	13	1

2. 難易度

簡単	やや簡単	ちょうど良い	やや難しい	難しい
117	148	433	101	9

3. 理解度

理解できた	ほぼ理解できた	普通	やや理解できなかった	理解できなかった
272	304	182	36	0

4. 進行の早さ

早い	やや早い	ちょうど良い	やや遅い	遅い
34	125	607	26	7

5. 時間数

短い	やや短い	ちょうど良い	やや長い	長い
38	117	550	84	5

6. この講習を他社に紹介したいか

ぜひ紹介したい	紹介したい	どちらでもない	あまり紹介したくない	紹介したくない
90	433	246	6	1

講師ごとに同じ講習内容で行ったわけではないため単純比較は難しいが、おおむね好評というアンケート結果となった。

特に、テキストの評価は依然として高く、レベルに合っているという意見が多く聞かれた。今年度は2時間程度で実施できるように3レベルでのタイムスケジュールを配布しており、どこを説明すればいいのかわからないといった意見は少なくなっている。時間数も、短いと感じる方が若干多い配分でのアンケート結果であり、2時間程度が目安であるといえる。

◇ 講師について

1. 指導内容

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
383	291	121	4	0

2. 質問への対応

適切	ほぼ適切	普通	やや不適切	不適切
321	242	189	4	0

講師に対する評価は、主催者としては直接関与できないだけに毎年不安があるところだが、今年には不適切はなく、やや不満も昨年より減っていることから、講師を行うセミナー参加者の自己学習とともに、テキストや講師用ツールの工夫が高評価につながってきていると感じる。全体に高評価をもらっているようであり、指導者育成の目的はそれだけで果たせたといえるのではなかろうか。

◇ テキストについて(難易度)

簡単	やや簡単	ちょうど良い	やや難しい	難しい
80	119	500	60	2

今年度は、前年度のテキストに標的型攻撃やクラウドといった最新動向を追加し、それらの最新動向を解説したり、受講者のレベルに応じてテキストの必要部分を選択して2時間で実施できるタイムスケジュールを示し、座学の実施も推奨した。今年度の事業を行うに当たって、前年度の意見から基礎知識を教えるためのテキストの使い方や、短時間でテキストの必要項目を教えるための方法を知りたいという要望があったため、レベルを3段階に分けて2時間で実施できるタイムテーブルを提示した。

情報セキュリティ知識は非常に広範で、なおかつ奥も深いだけでなく、日々状況が変わるため、テキストからレベルに応じて実施するための範囲と粒度については大変苦心したところである。結果、講師としては非常に使いやすいだけでなく、中小企業で知っておくべき内容となっているという評価が多くいただけた。さらに多くの最新技術や事例、インシデントの動向など、中小企業の知識レベルの向上に伴って、見直しを行っていく必要がある。

◇ 講習会参加目的について

回答項目	回答数
自身の知識を高めるため	473
社内指導を行うため	161
委託先指導のため	26
その他	49

◇ 今回の講習会を受けて、情報セキュリティ対策を適切に実施できそうですか？

自信が ついた	やや自信が ついた	何とか できそう	やや不安	不安
125	220	287	121	19

自分の意識や知識の低さを実感してもらい、従業員への教育が必要だという意見が多く書かれていた。実践や対策実施のためには、もう少しサポートが必要という意見もあり、具体的な活動を行うほど、さらなる学習が必要と気づいてもらえたようだ。

幅広い知識が必要との認識で、さらに多方面への学習を進めていただくとともに、受講者と講師との関係強化により日頃からの適切な対策をとってもらうことを期待する。

◇ 情報セキュリティ対策レベルを向上させるために解決が必要だと考えている問題

選択項目	1位	2位	3位
経営層の意識や体制・ルール作りといった組織的な問題 (人的・組織的対応)	437	98	64
建物やPCの管理などの物理的(環境的)な対策の問題 (物理的対応)	84	215	147
情報システム及び通信ネットワークの運用管理の問題 (システムの対応)	75	194	256
情報システムへのアクセス制御や情報システムの開発、保守 に関する問題(システムの対応)	54	117	118
情報セキュリティ上の事故対応状況に関する問題 (事業継続対応)	105	129	146
その他	6	7	9

昨年調査とほぼ同等であるが、1位は体制そのものの構築を望む声が圧倒的多数となった。2位・3位でシステムの物理的対応を行う必要性を感じている。事業継続性の問題にも注目をし始めているようであり、クラウド活用などが現実味を帯びてきていることが背景にあるとも考えられるが、震災や多くの事件・事故があった昨年と比較してそれほどの増加は見られない。まずはIT活用度の向上を高めることと並行しての対策強化が必要と言えるだろう。

◇ 情報セキュリティに関する相談者の現状

1. 相談をできる方の有無

いる	いない
485	293

2. 1.で「いる」とお答えの方の相談する方

対象者	回答数
IT コーディネータ	129
中小企業診断士	47
EC 実践研修認定講師	2
日商マスター	0
財務専門家	20
法務専門家	18
商工会議所・中央会等	34
今回の講習会講師	73
社内の IT 管理責任者	115
メーカー・ベンダーSE	103
量販店(販売店)の SE	20
その他	69

3. 1.で「いない」とお答えの方の相談する方の必要性

必要	不要	どちらとも いえない
153	20	107

相談する対象者がいる者は 62%と、前年度の 53%から 9 ポイント上昇している。まだまだ 3 分の 1 以上は誰にも相談できないでいる現状があるが若干改善されている傾向。ただし実際のインシデント発生時に相談する者が情報セキュリティの正しい知識と対応方法を知っている者ではない可能性が高いことは相変わらずの状況である。

なおかつ、相談するものがないと答えたもののうち、必要だと感じているものは約半数しかない。

こちらも前年度調査時と変わっておらず、地域での指導者育成と、適切な指導者の必要性認知を進めていく必要がある。

## (カ) 講師意見

指導者として実際に講習会を実施してもらったうえで感じたことを答えてもらったが、経営者や従業員への意識付けのために同様の講習会を地域ごとに継続実施をしていく必要性を挙げる意見が多くあった。

また、経営者への意識改革と、企業内での対策実施者の教育、対応してくれるコンサルやIT企業の成長といったいくつかの課題別の対象者向けに内容を変えて実施することも必要ではないかという意見が出てきている。

新聞やテレビといったメディアを通じた事件・事故の報道により、情報セキュリティへの関心や意識も高まってきたとはいえ、特に経営者自身がこのような講習会に参加することはまれであり、まずは経営者に意識付けをするとともに、必要な対策をするために必要な人材を地域で育てる必要があるという意見が出てきていることに注目したい。

## (ク) 事務局特記事項

今年度のセミナー受講者による講習会に対して、実施状況の把握のために事務局から5回ほど参加し傍聴させてもらった。

内容は様々だが、IPA「5分でできるチェックシート」はよく活用されており、まずは実態を見える化してから、必要性を理解したうえで講習を行うことが有効であるようだ。

前年度も3回の傍聴を実施したが、セミナー受講者による講習会については、講師の経験や知識といった力量に左右されるところが大きい。また、講習会参加者のレベルによっても伝えることのできる知識や情報に差が出てくるといえる。

このため、今年度は受講者のレベルに応じて選択できるタイムスケジュールを準備したところであるが、受講者による講習会を底上げし、地域の商工会議所等に推薦を行うことができるまでには、難易度や内容ごとのプログラムといった講習用ツールの整備だけでなく、講師専門のトレーニングや試験制度、ライセンス付与といった制度を検討する必要があるようである。

## 第11章 まとめ

中小企業情報セキュリティ対策促進事業として、中小企業を直接指導する立場の商工会議所、商工会、EC実践講師、中小企業診断士、ITコーディネータ、中小企業を指導する立場にある方々等に対して情報セキュリティの指導に関する基礎知識を習得してもらい、適切な対策のための指導ができるようになってもらうことを目的とした「情報セキュリティ対策 中小企業向け指導者育成セミナー」を全国25都道府県で全27回開催することが出来た。約6ヶ月という短い期間で開催したにも関わらず、参加人数は1,202名を数え、予定した会場すべてで無事開催することができた。これもひとえに経済産業省を始め、日本商工会議所、商工会連合会、ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、中小企業診断協会、さらには地域のNPOなど多くの関係機関の皆様の協力の賜物である。

事業としては4年度目ということで、事業主旨はもとより前年実施した際の成果や課題を基に、様々な事業内容の検討機会を設け、中小企業の経営者に対して指導者となった方々がより効果的に指導が行えるセミナーを考えて実施にこぎつけた。

今年度は、過去3年間で実施した内容と、地域ごとに成長していただきたい指導者のスキルレベルを検討し、中小企業への指導方法や適切な情報共有の手法を重視したカリキュラムとした。グループでの討議は初めてではないが、事故対応の演習方法を変えるなど、新しい演習方法を取り入れたセミナーとしたため、数回実施するまでは成果が上がるのかという不安もあったことは事実であるが、商工会議所、商工会連合会、ITコーディネータ協会、全国中小企業団体中央会、中小企業診断協会及び各地の関連団体が協力し合って、開催ごとに工夫を加えながら中小企業を始めとする地域の情報セキュリティ対策を考え、より良くしていくことができた。

また、受講いただいた参加者が指導者となって、地域企業を対象に講習会を行ってもらう活動は、今年で3年目である。講師からの報告書を取りまとめる中で、「従業員への教育の必要性を痛感した」、「関連企業にも紹介したい」といった感想が多くなっており、中小企業の経営者への情報セキュリティ対策の重要性への気づきを与えることが出来たことは、本事業主旨に沿った結果として大きな成果であった。

各地での参加者や会場となっていた商工会議所、商工会、都道府県中央会の皆様から、今後に向けての貴重なご意見をたくさんいただくとともに、さらなるセミナーの実施や、地域での支援施策を期待していただいている。この中には、指導者や地域の中小企業の状況に応じた内容での教育の開発や、中小企業の経営者や従業員に直接情報提供する仕組みの構築を行うことが、更なる大きな効果が期待できると考えられてもいる。このような活動には、各公的機関が実施している情報セキュリティに関するセミナー等もあるため、今後はより関連性を検討して事業の効果向上に努めていきたい。

来年度は、このような様々な課題を認識し、効果を意識しながら、全都道府県での多くの開催を実現するとともに、参加者がより指導的立場で多くの中小企業に接してもらい「情報セキュリティ」の本質を伝えていただくような、効果的な施策を行ってほしい。

最後になるが、中小企業情報セキュリティ対策促進事業の目標を実現するためには、我々事業を実施する側からのアプローチだけではなく、地域の拠点としての商工会議所や都道府県中央会等、あるいはITコーディネータや中小企業診断士を始めとする指導的人材、中小企業の経営者・従業員の企業側の人材のそれぞれの組織・立場の方たちが目的を明確にして、力を合わせた活動にしていくことが重要であろう。関係各位の更なるご協力・ご支援をお願いする次第である。





平成24年3月発行  
発行:特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会  
東京都港区西新橋 1-22-12 JCビル3F  
E-mail:sec@jnsa.org URL: <http://www.jnsa.org/>

「中小企業情報セキュリティ対策促進事業」は経済産業省の委託事業であり、  
特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA) が実施しています。  
<http://www.jnsa.org/ikusei/>